

## 計画期間中における点検の実施状況等

## 目 次

機器又は系統名	ページ
原子炉本体	1/30
[炉心]	
[原子炉容器]	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設	1/30
[燃料取扱設備]	
[使用済燃料貯蔵設備]	
[使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備]	
[燃料取替用水設備]	
原子炉冷却系統施設	3/30
[一次冷却材の循環設備]	
[主蒸気・主給水設備]	
[余熱除去設備]	
[非常用炉心冷却設備]	
[化学体積制御設備]	
[蒸気タービンの附属設備]	
[原子炉補機冷却水設備]	
[原子炉補機冷却海水設備]	
[原子炉格納容器内の一次冷却材の漏えいを監視する装置]	
計測制御系統施設	12/30
[制御材]	
[制御棒駆動装置]	
[工学的安全施設等の作動信号]	
[ほう酸注入機能を有する設備]	
[ほう素再生設備]	
[制御用空気設備]	
[その他設備]	
放射性廃棄物の廃棄施設	15/30
[気体、液体又は固体廃棄物処理設備]	
[原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射性廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置]	
放射線管理施設	17/30
[放射線管理用計測装置]	
[換気設備]	
原子炉格納施設	21/30
[原子炉格納容器]	
[圧力低減設備その他の安全設備]	
原子力設備	24/30
[その他設備]	

機器又は系統名	ページ
原子力設備・タービン設備	24/30
[その他設備]	
蒸気タービン	24/30
[車室、円板、隔板、噴口、翼、車軸]	
[調速装置及び非常調速装置並びに調速装置で制御される主要弁]	
[復水器]	
[蒸気タービンに附属する熱交換器]	
[蒸気タービンに附属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備]	
[蒸気タービンに附属する管等]	
[その他設備]	
その他発電用原子炉の附属施設	28/30
[浸水防護施設]	
[常用電源設備]	
[火災防護施設]	
非常用電源設備	29/30
[非常用発電装置]	
[その他の電源装置]	
土木建築設備	30/30
プラント総合	30/30

- 別紙-1：クラス1機器供用期間中検査10年計画  
 別紙-2：クラス2機器供用期間中検査10年計画  
 別紙-3：クラス3機器供用期間中検査10年計画  
 別紙-4：クラス1機器Ni基合金使用部位特別検査10年計画  
 別紙-5：クラス2管（原子炉格納容器内）特別検査10年計画  
 別紙-6：原子炉格納容器供用期間中検査10年計画  
 別紙-7：重大事故クラス2機器供用期間中検査10年計画

1. 点検計画

機器又は系統名	実施数(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定検回次)	検査名	備考 (○)内は適用する (設備診断技術)
原子炉本体 【炉心】	黒羽済燃料集合体	※ 1式 1. 外観点検	高	1P	○	20回	燃料集合体外観検査	※：炉心設計による
	黒羽済燃料集合体(取出燃料)	※ 1式 1. 外観点検	高	1P	○	20回	燃料集合体内配置検査	※：炉心設計による
	燃料集合体	※ 1式 1. 外観点検(炉内配置)	高	1P	○	20回	燃料集合体内配置検査	※：炉心設計による
	燃料集合体内挿物 (1) 制御棒クラスター (2) パーナブルボイズン (3) プラキニングデバイス (4) 2次中性子源	※ 1式 1. 機能・性能試験	高	1P	○	20回	原子炉停止余裕検査 炉物理検査	
原子炉容器 【原子炉容器】	原子炉容器	1. 開放点検	高	13M	○	20回		
	制御棒クラスター案内管支持ピン	1. 外観点検	高	3P	○	18回	精密健全性検査	
	燃料移送装置	1. 機能・性能試験(リフト フィングフレーム)	高	1P	○	20回	燃料取扱装置機能検査	一部先行実施
	燃料取扱クレーン	1. 機能・性能試験 2. 分解点検他	高	1P 39M~195M	○	20回	燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	
使用済燃料ピットクレーン	燃料取扱クレーン	1. 機能・性能試験	高	1P	○	20回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	先行実施
	使用済燃料ピットクレーン	2. 分解点検他	高	39M~195M	○	20回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	先行実施
	新燃料エレベーター	1. 機能・性能試験	高	1P	○	20回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	先行実施
	燃料取扱建屋クレーン	2. 分解点検他	高	39M~195M	○	20回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	先行実施
燃料取扱工具	燃料取扱工具	1. 機能・性能試験	高	1P	○	19回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	先行実施
	燃料取扱工具	2. 簡易点検(年次点検)	高	12M	○	19回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	プラント運転中
	燃料取扱工具	1. 外観点検	高	1P	○	20回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	先行実施
	燃料取置ラック	1. 外観点検	高	1P	○	20回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	先行実施
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済核燃料貯蔵設備】	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「燃料取扱装置」その他機器	1. 分組点検他	高・低	13M	○	20回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	先行実施
	事故時監視計器 水位監視計器 温度監視計器	1. 特性試験	高	13M	○	20回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	20回施設定期検時に設置
	1次系計測制御装置	1. 特性試験	高	13M	○	20回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	一部20回施設定期検時に設置
	使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置	1. 機能・性能試験	高	13M	○	20回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	20回施設定期検時に設置 20回施設定期検時に設置 20回施設定期検時より追加
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 【使用済核燃料貯蔵設備】	核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設「使用済燃料貯蔵設備」その他機器	1. 特性試験他	高	13M	○	20回	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	プラント運転中又は施設定期検停止中
	可搬式代替低圧注水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	20回施設定期検時に設置 20回施設定期検時より追加
	消防ポンプ	2. 分組点検(ボンプ) 1. 機能・性能試験	高	130M 78M	—	—	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	20回施設定期検時に設置 20回施設定期検時より追加
	消防ポンプ	1. 機能・性能試験	高	1Y	○	—	燃料取扱装置機能検査 燃料取扱装置機能検査(動作・インタローック 試験等)	プラント運転中又は施設定期検停止中 20回施設定期検時に設置 20回施設定期検時より追加

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔使用者燃燃料貯蔵槽冷却浄化設備〕	使用済燃料ピット浄化設備 A 使用済燃料ピットポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機等)	低	B	○	20回	使用済燃料貯蔵槽冷却浄化系機能検査		
		2. 分輝点検 (ポンプ)	低	78M	—	20回		先行実施 (振動診断: 3M)	
		3. 簡易点検 (電動機)		GM	—	11回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	20回			
		1. 分輝点検 (ポンプ)	低	78M	○	20回		先行実施 (振動診断: 3M)	
		2. 分輝点検 (電動機)		GM	—	12回			
	B 使用済燃料ピットポンプ・電動機	1. 簡易点検 (潤滑油入替)		低	13M	○	20回		
		1. 開放点検	低	130M	—	20回		先行実施	
		1. 開放点検 (管側)	低	130M	—	19回		先行実施	
		1. 開放点検 (筒側)		195M	—	20回		先行実施	
		2. 非破壊試験	低	130M	—	20回		1次系熱交換器検査	
		1. 開放点検 (管側)		130M	—	20回		先行実施	
C 使用済燃料ピット冷却器	1. 開放点検 (管側)	低	195M	—	20回		1次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		130M	—	20回		1次系熱交換器検査		
	1. 開放点検 (ガスケット)	低	130M	—	—		先行実施		
	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機等)	高・低	B	—	20回		1次系弁検査		
	2. 分輝点検		130M	○	20回		1次系弁検査 1次系弁検査		
	3. 簡易点検	高・低	B	○	20回		1次系弁検査		
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱替用水設備〕	A 燃料取扱替用水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	B※	—	20回	1次系ポンプ機能検査		
		2. 分輝点検 (ポンプ)		130M	—	20回		先行実施	
		3. 簡易点検 (電動機)		104M	—	20回		(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
		4. 簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	20回			
		1. 機能・性能試験	高	B※	—	20回		1次系ポンプ機能検査	
		2. 分輝点検 (ポンプ)		130M	—	19回		先行実施 (振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
	B 燃料取扱替用水ポンプ・電動機	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		高	104M	—	20回		
		1. 分輝点検	低	130M	○	20回		1次系ポンプ機能検査	
		2. 分輝点検		13M	○	20回			
		1. 機能・性能試験	高	B	—	20回		1次系弁検査	
		2. 分輝点検 (ポンプ)		130M	—	20回		1次系弁検査	
		3. 簡易点検 (電動機)		B	—	20回		1次系弁検査	
核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設 〔燃料取扱替用水設備〕	燃料取扱替用水ポンプ・電動機	4. 簡易点検 (潤滑油入替)		182M	—	16回			
		1. 機能・性能試験	高	104M	○	20回		1次系弁検査 1次系弁検査	
		2. 分輝点検		104M	—	260回			
		1. 分輝点検	低	104M	○	20回		1次系弁検査 1次系弁検査	
		2. 分輝点検		104M	—	260回			
		1. 分輝点検	低	104M	○	20回		1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [一次循環材の循環設備]	A 蒸気発生器	伝熱管	高	13M	○	20回	蒸気発生器伝熱管体目検査	
		3. 247本		13M	○	20回		
		3. 簡易点検 (スラッジラッシング)		13M	○	20回		
		4. 簡易点検 (ガスケット取替他)		13M	○	20回		
	B 蒸気発生器	伝熱管	高	13M	○	20回	蒸気発生器伝熱管体目検査	
		3. 248本		13M	○	20回		
		2. 開放点検		13M	○	20回		
		3. 簡易点検 (スラッジラッシング)		13M	○	20回		
	C 蒸気発生器	伝熱管	高	13M	○	20回	蒸気発生器伝熱管体目検査	
		3. 259本		13M	○	20回		
		1. 非破壊試験		13M	○	20回		
		2. 開放点検		13M	○	20回		
	加圧器安全弁	4V-RC-055	高	1F	○	20回	加圧器安全弁機能検査	
		4V-RC-056		B	○	20回		
		4V-RC-057		13M	○	20回		
		4-PCV-454C		1F	○	20回		
	加圧器逃がし弁		高	1F	○	20回	加圧器逃がし弁機能検査	
				1F	○	20回		
				26M	○	20回		
				13M	○	20回		
加圧器逃がし弁駆動部	4-PCV-454C	高	13M	○	20回	加圧器逃がし弁駆動部検査		
	4-PCV-455A		13M	○	20回			
	4-PCV-455A		1F	○	20回			
	4-PCV-455B		1F	○	20回			
加圧器逃がし弁駆動部	4-PCV-455A	高	13M	○	20回	加圧器逃がし弁駆動部検査		
	4-PCV-455B		1F	○	20回			
	4-PCV-455B		26M	○	20回			
	4-PCV-455B		13M	○	20回			
加圧器逃がし弁元弁	4V-RC-054A	高	1F	○	20回	加圧器逃がし弁元弁機能検査		
	4V-RC-054A		130M	○	20回			
	4V-RC-054A		65M	○	20回			
	4V-RC-054B		156M	○	20回			
加圧器逃がし弁元弁駆動部	4V-RC-054A	高	1F	○	20回	加圧器逃がし弁元弁駆動部検査		
	4V-RC-054B		130M	○	18回			
	4V-RC-054B		65M	○	18回			
	4V-RC-054C		156M	○	20回			
加圧器逃がし弁元弁	4V-RC-054B	高	1F	○	20回	加圧器逃がし弁元弁機能検査		
	4V-RC-054C		130M	○	19回			
	4V-RC-054C		65M	○	19回			
	4V-RC-054C		156M	○	20回			

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備診断技術 一部施設定検起動後			
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備]	A 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解除点検 (ポンプ)	高	1P	○	20回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後			
		2. 分解除点検 (電動機)		130M	—	14回					
		2. 分解除点検 (メカニカルシール)		104M	—	19回					
		2. 分解除点検 (フライホイール)		13M	○	20回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査				
		2. 分解除点検 (潤滑油入替)		104M	—	19回					
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	19回					
		1. 機能・性能試験		1P	○	20回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後			
		2. 分解除点検 (ポンプ)		130M	—	13回					
		2. 分解除点検 (電動機)		104M	○	17回					
		2. 分解除点検 (メカニカルシール)		13M	○	20回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査				
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材ポンプ・電動機]	C 1 次冷却材ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1P	○	20回	1 次冷却材ポンプ機能検査	一部施設定検起動後			
		2. 分解除点検 (ポンプ)		130M	—	19回					
		2. 分解除点検 (電動機)		104M	—	20回					
		2. 分解除点検 (メカニカルシール)		13M	○	20回	1 次冷却材ポンプメカニカルシール分解検査				
		2. 分解除点検 (フライホイール)		104M	—	20回					
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	19回					
		1. 開放点検 (マンホールカスケード取替)		39M	—	20回					
		2. 簡易点検 (ポンプ)		13M	○	20回					
		1. 機能・性能試験		B	○	20回	1 次系弁検査				
		2. 分解除点検		26M	○	20回	1 次系弁検査				
原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁 原子炉冷却系統施設 [一次冷却材の循環設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	20回	1 次系弁検査				
		2. 分解除点検		13M	○	20回	1 次系弁検査				
		3. 簡易点検 (特種試験)		13M	○	20回					
		1. 分解除点検		65M~260M	○	20回	保全の有効性評価結果No. 1の反映				
		1. 分解除点検		52M~130M	○	20回	一部BMあり				
		2. 漏えい試験		1P	○	20回	主蒸気安全弁機能検査				
		3. 分解除点検		B	—	20回	主蒸気安全弁漏えい検査				
		1. 機能・性能試験		26M	—	20回					
		原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]		1式	1. 機能・性能試験	高	1P	○	20回	主蒸気安全弁機能検査	
					2. 漏えい試験		B	○	20回	主蒸気安全弁漏えい検査	
3. 分解除点検	26M		○		20回						

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備]	主蒸気速がし弁	4-PV-3610 1. 機能・性能試験 (駆動部管理)	高	1F	○	20回	主蒸気速がし弁機能検査	最終ヒーティングポンプ熱源設備定期検査より追加 は20回施設定期検査より追加
		4-PV-3620 2. 補充試験		B	○	20回		
		4-PV-3630 3. 分断点検		13M	○	20回	主蒸気速がし弁補充試験	
	主蒸気速がし弁駆動部	4-PV-3610 1. 分断点検	高	13M	○	20回		
		4-PV-3620 2. 簡易点検 (特性試験)		13M	○	20回		
		4-PV-3630		13M	○	20回		
	主蒸気隔離弁	4V-NS-533A 1. 機能・性能試験 (駆動部含む)	高	1F	○	20回	主蒸気隔離弁機能検査	
		4V-NS-533B 2. 分断点検	高	39M	○	18回	2次系弁検査	
		4V-NS-533C 2. 分断点検	高	39M	—	20回	2次系弁検査	
		4V-NS-533C 2. 分断点検	高	39M	—	19回	2次系弁検査	
		4V-NS-533A 1. 分断点検	高	39M	○	20回	20回	
		4V-NS-533B 1. 分断点検	高	39M	○	20回	20回	
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の弁	1式 1. 機能・性能試験	高	B	○	20回	2次系弁検査		
	2. 分断点検		52M~130M	○	20回	2次系弁検査		
	3. 簡易点検 (グラウンドパッシング試験)		65M	○	20回	2次系弁検査		
原子炉冷却系統施設 [主蒸気・主給水設備] その他の機器	1式	1. 機能・性能試験	高	B	○	20回	2次系弁検査	
		2. 分断点検		52M~156M	○	20回		
		3. 簡易点検 (特性試験)		13M~52M	○	20回		
	1式	1. 分断点検他	高	13M~130M	○	20回		
		2. 簡易点検 (潤滑油入替)	低	130M~195M	○	20回		一部BMあり
		3. 簡易点検 (ポンプ)	高	B※	—	20回	1次系ポンプ機能検査 (振動診断：1M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施 その他原子炉注水系ポンプ分解検査は 20回施設定期検査より追加	
	A 余熱除去ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	78M	—	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査	
		2. 分断点検 (電動機)		130M	—	20回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		3. 簡易点検 (潤滑油入替)		13M	○	20回		
		1. 機能・性能試験	高	B※	—	20回	1次系ポンプ機能検査 (振動診断：1M)	
		2. 分断点検 (ポンプ)		78M	—	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査	
		2. 分断点検 (電動機)		130M	—	20回	その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
B 余熱除去冷却器	1. 開放点検	高	130M	—	18回			
	2. 非破壊試験		130M	—	18回	1次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験	高	130M	—	17回			
B 余熱除去冷却器	2. 非破壊試験	高	130M	—	17回	1次系熱交換器検査		
	1. 開放点検		130M	—	17回			
	2. 非破壊試験		130M	—	17回	1次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(新技術)	
原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備]	低圧注入系主要弁駆動部 原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の弁 原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の弁駆動部 原子炉冷却系統施設 [余熱除去設備] の他AM (代替弁駆動) 機器 その他AM (代替弁駆動) 機器	4V-RH-041A	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-RH-041B	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-PCV-601	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-PCV-611	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-193A	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-193B	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-202A	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-202B	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-202C	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-203A	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-203B	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-203C	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-208A	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-208B	高	130M	—	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-209A	高	130M	○	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-209B	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査	その他原子炉注水系主要弁分解検査は20回施設定期検査より追加	
		1式	高	156M	—	20回	1. 分働点検 1. 機能・性能試験	1. 分働点検 1. 機能・性能試験	
		1式	高	B 52M~130M 65M~130M	○ ○ ○	20回 20回 20回	1. 分働点検 2. 分働点検 3. 簡易点検 (ブランド パッキン取替)	1. 分働点検 1. 分働点検 1. 分働点検	
		1式	高	B 52M~156M 13M~52M	○ ○ ○	20回 20回 20回	1. 機能・性能試験 2. 分働点検 3. 簡易点検 (特性試験)	1. 分働点検 2. 分働点検 3. 簡易点検 (特性試験)	
1式	高	65M~260M	○	20回	1. 分働点検他	1. 分働点検他	保全の有効性評価結果No.1の反映		
1式	高	130M~182M	○	20回	1. 分働点検他	1. 分働点検他			



機器又は系統名	実施教(機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期(定例回次)	検査名	備考 ( )内は適用する設備(診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧及び低圧注入系 [余熱除去設備(低圧注入機能)を含む]	1.機能・性能試験(ポンプ、電動機、弁、弁駆動装置を含む) 1.機能・性能試験(状態監視を含む)	高	1F 6M	○ ○	20回 プラント運転中	プラント運転中 [対象設備] ・A、B、C 充てん/高圧注入ポンプ ・A、B 余熱除去ポンプ		
	その他原子炉注水系	1.機能・性能試験	高	1F	○	20回	その他原子炉注水系機能検査	[対象設備] ・A高圧注入系 ・B高圧注入系(自己発却) ・C高圧注入系(海水による電動機発却) ・A低圧注入系 ・B低圧注入系(海水による電動機発却)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	高圧注入系主要弁	4-LCV-121D	1.分解点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4-LCV-121E	1.分解点検	高	130M	○	16回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-023A	1.分解点検	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-023B	1.分解点検	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-042A	1.分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-042B	1.分解点検	高	130M	—	12回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-099A	1.分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-099B	1.分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-099C	1.分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-048A	1.分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-048B	1.分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-048C	1.分解点検	高	260M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		4V-SI-106A	1.分解点検	高	260M	—	—	—	—
		4V-SI-106B	1.分解点検	高	260M	—	—	—	—
		4V-SI-106C	1.分解点検	高	260M	—	—	—	—
		4V-SI-087A	1.分解点検	高	260M	—	—	—	—
		4V-SI-087B	1.分解点検	高	260M	—	—	—	—
4V-SI-087C	1.分解点検	高	260M	—	—	—	—		
4V-SI-088	1.分解点検	高	130M	—	—	—	—		
1式		1.分解点検	高	156M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査		

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要度	保全方式 又は頻度	今回の実 施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備]	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] 原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁	1. 機能・性能試験 (弁、 駆動部含む)	高	1F	○	20回	非常用炉心冷却系統機能検査 その他原子炉注水系統機能検査	その他原子炉注水系統機能検査は20回実施 設定定期検査より追加	
		4W-S1-132A	1. 分働点検	高	130M	—	13回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は 20回実施設定定期検査より追加
		4W-S1-132B	1. 分働点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は 20回実施設定定期検査より追加
		4W-S1-132C	1. 分働点検	高	130M	—	14回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は 20回実施設定定期検査より追加
		4W-S1-134A	1. 分働点検	高	130M	—	18回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は 20回実施設定定期検査より追加
		4W-S1-134B	1. 分働点検	高	130M	—	17回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は 20回実施設定定期検査より追加
		4W-S1-134C	1. 分働点検	高	130M	○	11回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は 20回実施設定定期検査より追加
		4W-S1-136A	1. 分働点検	高	130M	—	15回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は 20回実施設定定期検査より追加
		4W-S1-136B	1. 分働点検	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は 20回実施設定定期検査より追加
		4W-S1-136C	1. 分働点検	高	130M	—	20回	非常用炉心冷却系主要弁分解検査 その他原子炉注水系統主要弁分解検査	その他原子炉注水系統主要弁分解検査は 20回実施設定定期検査より追加
		1式	1. 分働点検	高	156M	—	20回		
		A. 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—	16回		
		B. 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—	20回		
C. 蓄圧タンク	1. 開放点検	高	130M	—	20回				
燃料取扱用水タンク 格納容器再循環サンプ	燃料取扱用水タンク 格納容器再循環サンプ	1. 開放点検	高	130M	—	20回			
		1. 外観点検	高	1F	○	20回			
		1. 外観点検	高	10V	—	—		原子炉格納容器再循環サンプスクリーン 検査 19回実施設定検時に設置	
燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ・電動機	燃料取扱用水タンク補給用移送ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	その他原子炉注水系統機能検査	20回実施設定検時に設置 20回実施設定定期検査より追加	
		2. 分働点検 (ポンプ)		130M	—	—			
		2. 分働点検 (電動機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替 他)		78M 13M	—	—			
恒設代格低圧注水系統	恒設代格低圧注水系統	1. 機能・性能試験 (ポン プ、電動機含む)	高	1F	○	20回	原子炉格納容器安全系統機能検査 その他原子炉注水系統機能検査	20回実施設定検時に設置 その他原子炉注水系統機能検査は20回 実施設定定期検査より追加	
		1. 機能・性能試験	高	B	—	—			
		2. 分働点検 (ポンプ)		130M	—	—		原子炉格納容器安全系統ポンプ分解検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁	2. 分働点検 (電動機)		78M	—	—			
		3. 簡易点検 (潤滑油入替 他)		13M	○	20回			
		1. 機能・性能試験	高・低	B	○	20回	1. 次系弁検査 1. 次系安全弁検査		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の弁	2. 分働点検		52M~260M	○	20回	1. 次系弁検査 1. 次系安全弁検査		
		1. 機能・性能試験	高	B	○	20回	1. 次系弁検査 1. 次系安全弁検査		
		2. 分働点検		52M~182M	○	20回	1. 次系弁検査 1. 次系安全弁検査		
原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の機器	原子炉冷却系統施設 [非常用炉心冷却設備] その他の機器	3. 簡易点検 (特性試験)		13M~65M	○	20回			
		1. 分働点検他	高	13M~260M	○	20回			
		1. 分働点検他	低	260M~130M	○	20回		保全の有効性評価結果No.1の反映 一部B/Mあり 一部先行実施	

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 【化学体積制御設備】	化学体積制御系 A 充てん/高圧注入ポンプ・電動機 B 充てん/高圧注入ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 1. 分解点検 (ポンプ)	高	1P 117M	○	20回	化学体積制御系機能検査	( ) 内は適用する設備診断技術) 施設設定起動後 (振動診断: 3M) その他原子炉注水系ポンプ分解検査は20回施設定期検査より追加 保全の有効性評価結果No. 4の反映
		1. 分解点検 (電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	104M 26M	—	19回 20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		1. 分解点検 (電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	104M 26M	○	18回 20回		
		1. 分解点検 (ポンプ)	高	117M	—	20回	非常用炉心冷却系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系ポンプ分解検査	
		1. 分解点検 (電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	104M 26M	○	20回		
	化学体積制御系 A 冷却材ポンプ B 冷却材配管路入口フィルタ 非再生冷却器	1. 開放点検 (管側) 1. 開放点検 (管側)	高	195M	—	18回	先行実施	
		1. 開放点検 2. 非破壊試験	高	130M	—	18回	1次系熱交換器検査	
		1. 分解点検 1. 分解点検	高	130M	—	17回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		1. 分解点検 1. 分解点検	高	130M	—	17回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		1. 分解点検 1. 分解点検	高	130M	—	19回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 20回施設定期検査より追加	
		1. 分解点検 1. 機能・性能試験	高	130M	○	19回 20回	その他原子炉注水系主要弁分解検査 1次系弁検査 1次系安全弁検査	
原子炉冷却系施設 【化学体積制御設備】 その弁	4W-GS-218 4W-GS-219 4W-GS-233 4W-GS-234 その1式	1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検 1. 分解点検	高・低	13M~290M B 13M~156M 13M~65M 13M~260M	○	20回 20回 20回 20回	一部先行実施 1次系弁検査 1次系安全弁検査 1次系弁検査	一部先行実施 保全の有効性評価結果No. 2,3の反映
	原子炉冷却系施設 【化学体積制御設備】 その弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B	○	20回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
	原子炉冷却系施設 【化学体積制御設備】 その弁	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	13M~156M 13M~65M	○	20回 20回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
	原子炉冷却系施設 【化学体積制御設備】 その弁	1. 分解点検 1. 分解点検	高	13M~260M	○	20回	1次系弁検査	
	原子炉冷却系施設 【化学体積制御設備】 その弁	1. 分解点検	高	26M~130M	○	20回	1次系弁検査	
	原子炉冷却系施設 【化学体積制御設備】 その弁	1. 分解点検	高	26M~130M	○	20回	1次系弁検査	

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(診断技術)	
原子炉冷却系系統施設 [蒸気タービンへの附属設備]	補助給水系	1. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機含む)	高	1F	○	20回	補助給水系機能検査		
		A 電動補助給水ポンプ・電動機	高	130M 104M 13M	○ - ○	11回 15回 20回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断: 1M)	
	タービン動補助給水ポンプ	1. 簡易点検 (潤滑油入替 他)	高	130M 104M 13M	- - ○	- - 20回	補助給水系ポンプ分解検査	(振動診断: 1M)	
		B 電動補助給水ポンプ・電動機	高	B 52M 13M	- ○ -	20回 20回 20回	2次系ポンプ機能検査 補助給水系ポンプ分解検査	駆動部のタービン含む	
	原子炉冷却系系統施設 [蒸気タービンの附属設備] 1式	1. 機能・性能試験	高	B 52M~130M 52M	○ ○ -	20回 20回 20回	2次系ポンプ検査 2次系弁検査	保全の有効性評価結果No. 5の反映	
		原子炉冷却系系統施設 [蒸気タービンの附属設備] 1式	高	B 156M 13M~26M	- ○ ○	- 20回 20回	20回 20回	20回	
	原子炉冷却系系統施設 [蒸気タービンの附属設備] 1式	1. 分解点検 他	高	1300~2600M	○	○	20回	一部20回施設設定検時に設置	
		原子炉相補機冷却系	低	13M~130M	○	○	20回	原子炉相補機冷却系機能検査	
	原子炉冷却系系統施設 [原子炉相補機冷却水設備]	A 原子炉相補機冷却水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (弁、駆動部含む)	高	1F	○	20回	原子炉相補機冷却系機能検査	
			2. 分解点検 (ポンプ)	高	B※ 130M 104M 26M	- - ○	19回 18回 19回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 6の反映
B 原子炉相補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※ 130M 104M 26M	- - ○	20回 20回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 6の反映	
		2. 分解点検 (電動機)	高	B※ 130M 104M 26M	- - ○	20回 19回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 6の反映	
C 原子炉相補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※ 130M 104M 26M	- - ○	20回 20回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 6の反映	
		2. 分解点検 (ポンプ)	高	B※ 130M 104M 26M	- - ○	20回 19回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 6の反映	
D 原子炉相補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※ 130M 104M 26M	- - ○	20回 20回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 6の反映	
		2. 分解点検 (電動機)	高	B※ 130M 104M 26M	- - ○	20回 19回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 6の反映	
E 原子炉相補機冷却水ポンプ・電動機		1. 機能・性能試験	高	B※ 130M 104M 26M	- - ○	20回 20回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 6の反映	
		2. 分解点検 (電動機)	高	B※ 130M 104M 26M	- - ○	20回 18回 20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 3M) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 6の反映	

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	A.原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	20回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		13M	○	20回		
		3. 漏えい試験		1F	○	20回		
		4. 機能・性能試験		※X	○	20回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施
		5. 開放点検		※X	○	20回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 構造・強度事業者検査	
	B.原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	20回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		13M	○	20回		
		3. 漏えい試験		1F	○	20回		
		4. 機能・性能試験		※X	○	20回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施
		5. 開放点検		※X	○	20回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 構造・強度事業者検査	
	C.原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	20回	1次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験		13M	○	20回		
		3. 漏えい試験		1F	○	20回		
		4. 機能・性能試験		※X	○	20回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施
		5. 開放点検		※X	○	20回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 構造・強度事業者検査	
D.原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	13M	○	20回	1次系熱交換器検査		
	2. 非破壊試験		13M	○	20回			
	3. 漏えい試験		1F	○	20回			
	4. 機能・性能試験		※X	○	20回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 機能・性能事業者検査	※：1次系熱交換器検査結果にて有意な信号指示が認められた場合に実施	
	5. 開放点検		※X	○	20回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 構造・強度事業者検査		
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備]	原子炉補機冷却水サージタンク	1. 開放点検	高	130M	—	20回	1次系真空破壊弁検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	20回		
		3. 漏えい試験		1F	○	20回	可搬型重大事故等対応設備機能検査	20回施設定期時に設置 20回施設定期検査より追加
		4. 機能・性能試験		B	○	20回	1次系弁検査 1次系安全弁検査	
		5. 開放点検		130M	○	20回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査	
	原子炉補機冷却水サージタンクバスキュームポンプ	1. 開放点検	高	65M～156M	○	20回	2次系ポンプ機組検査	
		2. 非破壊試験		13M～65M	○	20回		
		3. 漏えい試験		13M～65M	○	20回		
		4. 機能・性能試験		13M～260M	○	20回		
		5. 開放点検		65M～130M	○	20回		
	可搬型原子炉補機冷却水循環ポンプ	1. 開放点検	高・低	13M	○	20回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 機能・性能事業者検査	
		2. 非破壊試験		13M	○	20回		
		3. 漏えい試験		13M	○	20回		
		4. 機能・性能試験		13M	○	20回		
		5. 開放点検		13M	○	20回		
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他の弁	1. 開放点検	高	130M	○	20回	1次系弁検査 1次系安全弁検査		
	2. 非破壊試験		B	○	20回	1次系弁検査 1次系弁検査 1次系弁検査		
	3. 漏えい試験		130M	○	20回			
	4. 機能・性能試験		13M～260M	○	20回			
	5. 開放点検		65M～130M	○	20回			
原子炉冷却系統施設 [原子炉補機冷却水設備] その他の機器	1. 開放点検	高	65M	○	20回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 機能・性能事業者検査		
	2. 非破壊試験		65M	○	20回			
	3. 漏えい試験		65M	○	20回			
	4. 機能・性能試験		65M	○	20回			
	5. 開放点検		65M	○	20回			
原子炉補機冷却水冷却器	1. 開放点検	高	130M	○	20回	原子炉補機冷却水冷却器伝熱管補修工事 機能・性能事業者検査		
	2. 非破壊試験		130M	○	20回			
	3. 漏えい試験		130M	○	20回			
	4. 機能・性能試験		130M	○	20回			
	5. 開放点検		130M	○	20回			
海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (弁、電動機を含む)	高	B※	—	20回	先行実施 2次系ポンプ機組検査	先行実施 (振動診断：3M (対象：電動機)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施 保全の有効性評価結果No. 8の反映	
	2. 分輝点検 (ポンプ)		52M	—	20回	2次系ポンプ分解検査		
	3. 簡易点検 (電動機)		104M	—	20回			
	4. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	20回			
	5. 開放点検		B※	—	20回	2次系ポンプ機組検査 2次系ポンプ分解検査	先行実施 (振動診断：3M (対象：電動機)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施 保全の有効性評価結果No. 8の反映	
海水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ)	高	52M	—	20回	2次系ポンプ機組検査		
	2. 分輝点検 (ポンプ)		104M	—	20回			
	3. 簡易点検 (潤滑油入替)		26M	○	20回			
	4. 簡易点検 (電動機)		B※	○	20回	2次系ポンプ機組検査	先行実施 (振動診断：3M (対象：電動機)) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施	
	5. 開放点検 (潤滑油入替)		104M	○	20回	2次系ポンプ分解検査	保全の有効性評価結果No. 9の反映	

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(新技術)
原子炉冷却系統施設 [原子炉補給冷却海水設備] [原子炉冷却系統施設] [原子炉補給冷却海水設備] [原子炉冷却系統施設] [原子炉補給冷却海水設備] [原子炉冷却系統施設] [原子炉補給冷却海水設備]	原子炉冷却系統施設 [原子炉補給冷却海水設備] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B 117M	○	20回	2次系弁検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補給冷却海水設備] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	B 117M	○	20回		
原子炉冷却系統施設 [原子炉補給冷却海水設備] [原子炉冷却系統施設] [原子炉補給冷却海水設備]	原子炉冷却系統施設 [原子炉補給冷却海水設備] 1式	1. 分解点検 2. 簡易点検	高	13M~195M	○	20回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内腐蝕後重測定装置補えい検出器機能検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補給冷却海水設備] 1式	1. 分解点検 2. 簡易点検	低	13M~195M	○	20回		
原子炉冷却系統施設 [原子炉補給冷却海水設備] [原子炉冷却系統施設] [原子炉補給冷却海水設備]	原子炉冷却系統施設 [原子炉補給冷却海水設備] 1式	1. 機能・性能試験 2. 特種試験	高	1P	○	20回	格納容器サンプ水位上昇率測定装置及び格納容器内腐蝕後重測定装置補えい検出器機能検査	
	原子炉冷却系統施設 [原子炉補給冷却海水設備] 1式	1. 機能・性能試験 2. 特種試験	高	13M	○	20回		
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 外観点検 2. 分解点検	高	1P	○	20回	制御系クラスタ検査	※: 伊心設計による
	制御系 [制御系] 1式	1. 外観点検 2. 分解点検	高	1P	○	20回	制御系クラスタ検査	※: 伊心設計による
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 外観点検 2. 分解点検	高	1P	○	20回	制御系クラスタ検査	※: 伊心設計による
	制御系 [制御系] 1式	1. 外観点検 2. 分解点検	高	1P	○	20回	制御系クラスタ検査	※: 伊心設計による
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	B※ 78M	○	20回	制御系駆動系機能検査	(振動診断: 3M) ※※※電機またはは電動機の分解点検に合 わせて実施
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	78M	○	20回		
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	78M	○	20回	制御系クラスタ動作検査	(振動診断: 3M) ※※電機またはは電動機の分解点検に合 わせて実施
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	78M	○	20回		
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	13M	○	20回		
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	13M	○	20回		
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	B※ 78M	○	20回	重事故時安全停止回路機能検査	20回施設設定時に設置 20回施設定期検査より追加
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	78M	○	20回		
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	B※ 78M	○	20回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 1M) ※※ポンプまたはは電動機の分解点検に合 わせて実施
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	78M	○	20回	ほう酸ポンプ分解検査	
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	13M	○	20回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 1M) ※※ポンプまたはは電動機の分解点検に合 わせて実施
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	13M	○	20回	ほう酸ポンプ分解検査	
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	B※ 78M	○	20回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 1M) ※※ポンプまたはは電動機の分解点検に合 わせて実施
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	78M	○	20回	ほう酸ポンプ分解検査	
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	13M	○	20回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 1M) ※※ポンプまたはは電動機の分解点検に合 わせて実施
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	13M	○	20回	ほう酸ポンプ分解検査	
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	B※ 78M	○	20回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 1M) ※※ポンプまたはは電動機の分解点検に合 わせて実施
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	78M	○	20回	ほう酸ポンプ分解検査	
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	13M	○	20回	ほう酸ポンプ機能検査	(振動診断: 1M) ※※ポンプまたはは電動機の分解点検に合 わせて実施
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	13M	○	20回	ほう酸ポンプ分解検査	
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	B※ 78M	○	20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M (対系: ポンプ)) ※※ポンプまたはは電動機の分解点検に合 わせて実施
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	78M	○	20回		
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	26M	○	20回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M (対系: ポンプ)) ※※ポンプまたはは電動機の分解点検に合 わせて実施
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	26M	○	20回		
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	195M	○	11回	1次系ポンプ機能検査	(振動診断: 6M (対系: ポンプ)) ※※ポンプまたはは電動機の分解点検に合 わせて実施
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	195M	○	9回		
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	130M	○	20回	1次系真空破膜弁検査	
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	130M	○	20回	1次系真空破膜弁検査	
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	130M	○	20回	1次系真空破膜弁検査	
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	130M	○	20回	1次系真空破膜弁検査	
計測制御系統施設 [制御系]	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	130M	○	20回	1次系真空破膜弁検査	
	制御系 [制御系] 1式	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (発電機) 3. 簡易点検 (潤滑油入替)	高	130M	○	20回	1次系真空破膜弁検査	

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(診断技術)	
計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する設備]	1 一次系冷却タンク 1 二次系冷却タンク 1 二次系排水タンク ほう酸フィラータ 計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する] 1式 計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する] 1式 計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する] 1式 計測制御系統施設 [ほう酸注入機能を有する] 1式	1. 開放点検	高	195M	-	14回			
		1. 分解点検	高	130M	-	20回	1 一次系真空破断弁検査		
		1. 開放点検	高	130M	-	20回	1 一次系真空破断弁検査		
		1. 機能・性能試験	高・低	B	○	20回	1 一次系弁検査 1 一次系安全弁検査	一部先行実施	
		2. 分解点検	高	104M~130M	○	20回	1 一次系弁検査 1 一次系安全弁検査 1 一次系弁検査		
		1. 機能・性能試験	高	B	-	20回		一部BMあり 一部先行実施	
		2. 分解点検	高	156M	-	20回		先行実施	
		1. 分解点検	高	104M~221M	○	20回			
		1. 分解点検	低	195M	○	20回			
		1. 分解点検	高	130M	-	17回			
計測制御系統施設 [ほう酸再生設備]	ほう酸再生抽出水冷却器 ほう酸再生再生熱器 ほう酸再生再生熱器 ほう酸再生前副熱交換器 計測制御系統施設 [ほう酸再生設備] その他 1式 計測制御系統施設 [ほう酸再生設備] その他 1式 計測制御系統施設 [ほう酸再生設備] その他 1式 格納容器外部制御用空気圧縮機・電動機	1. 開放点検(管側)	高	130M	-	17回			
		1. 開放点検(胴側)	高	195M	○	-			
		2. 非破壊試験	高	130M	-	17回		1 一次系熱交換器検査	
		1. 開放点検(管側)	高	130M	-	17回		1 一次系熱交換器検査	
		2. 非破壊試験	高	130M	-	17回		1 一次系熱交換器検査	
		1. 開放点検(管側)	高	130M	○	17回		1 一次系熱交換器検査	先行実施
		2. 非破壊試験	高	195M	○	-			
		1. 開放点検(管側)	高・低	B	-	20回		1 一次系安全弁検査 1 一次系弁検査	
		2. 分解点検	高	104M~130M	○	20回		1 一次系安全弁検査 1 一次系弁検査	
		1. 分解点検	高	104M~130M	○	20回			一部先行実施
計測制御系統施設 [制御用空気設備]	格納容器外部制御用空気圧縮機 A 格納容器外部制御用空気圧縮機・電動機 B 格納容器外部制御用空気圧縮機・電動機 格納容器内部制御用空気圧縮機 A 格納容器内部制御用空気圧縮機・電動機 B 格納容器内部制御用空気圧縮機・電動機 計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他 1式 計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他 1式 計測制御系統施設 [制御用空気設備] その他 1式	1. 機能・性能試験(圧縮機・電動機含む)	低	156M	○	20回		制御用空気圧縮機機能検査	
		1. 分解点検(圧縮機)	高	1F	○	20回			(振動診断: 3M (対象: 電動機))
		1. 分解点検(圧縮機)	高	26M	○	20回			
		1. 分解点検(電動機)	高	36M	-	13回			
		2. 簡易点検(Vベルト調整)	高	26M	-	20回			
		2. 簡易点検(潤滑油入替)	高	13M	○	20回			
		1. 分解点検(圧縮機)	高	26M	-	20回			(振動診断: 3M (対象: 電動機))
		2. 簡易点検(Vベルト調整)	高	36M	-	14回			
		2. 簡易点検(Vベルト調整)	高	26M	○	20回			
		2. 簡易点検(潤滑油入替)	高	13M	○	20回			
1. 機能・性能試験(圧縮機・電動機含む)	高	1F	○	20回		制御用空気圧縮機機能検査			
1. 分解点検(圧縮機)	高	26M	○	20回			(振動診断: 3M (対象: 電動機))		
2. 簡易点検(Vベルト調整)	高	36M	○	20回					
2. 簡易点検(Vベルト調整)	高	26M	○	20回					
2. 簡易点検(潤滑油入替)	高	13M	○	20回					
1. 分解点検(圧縮機)	高	26M	-	20回					
2. 簡易点検(Vベルト調整)	高	78M	-	20回					
2. 簡易点検(Vベルト調整)	高	26M	○	20回					
2. 簡易点検(潤滑油入替)	高	13M	○	20回					
1. 分解点検(圧縮機)	高	26M	-	20回					
2. 簡易点検(Vベルト調整)	高	78M	-	20回					
2. 簡易点検(Vベルト調整)	高	26M	○	20回					
2. 簡易点検(潤滑油入替)	高	13M	○	20回					
1. 機能・性能試験	高	B	○	20回		1 一次系安全弁検査			
2. 分解点検	高	130M~195M	○	20回		1 一次系安全弁検査			
1. 分解点検	高	156M	-	20回					
1. 分解点検	高	13M~260M	○	20回			保全の有効性評価結果No.1の反映		
1. 分解点検	低	13M~195M	○	20回			一部BMあり		





機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)
放射性廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	ほう酸回収装置	1.機能・性能試験 2.分解点検 (ポンプ) 3.簡易点検 (電動機)	低	B※ 65M~130M	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施
	ほう酸回収装置 (弁、機器)	1.簡易点検 (ガスケット パッキン取替)	低	130M	○	20回		先行実施
A補助建屋冷卻材ドレンポンプ・電動機	A補助建屋冷卻材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	-	20回	液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断：4M (対象：ポンプ) ) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施 保全の有効性評価結果No.7の反映
		2.分解点検 (ポンプ)						
B補助建屋冷卻材ドレンポンプ・電動機	B補助建屋冷卻材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	-	20回	液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断：4M (対象：ポンプ) ) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施 保全の有効性評価結果No.7の反映
		2.分解点検 (電動機)						
Aほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	Aほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	-	17回	液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断：4M (対象：ポンプ) ) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
		2.分解点検 (ポンプ)						
Bほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	Bほう酸回収装置給水ポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	-	19回	液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断：4M (対象：ポンプ) ) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
		2.分解点検 (電動機)						
A補助建屋サンプリングポンプ・電動機	A補助建屋サンプリングポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	保全の有効性評価結果No.7の反映
		2.分解点検 (ポンプ)						
B補助建屋サンプリングポンプ・電動機	B補助建屋サンプリングポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	-	7回	液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断：4M (対象：ポンプ) ) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
		2.分解点検 (電動機)						
A補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	A補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	-	20回	液体廃棄物処理系設備検査	保全の有効性評価結果No.7の反映
		2.分解点検 (ポンプ)						
B補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	B補助建屋機器ドレンタンクポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	-	17回	液体廃棄物処理系設備検査	(振動診断：4M (対象：ポンプ) ) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
		2.分解点検 (電動機)						
A格納容器冷卻材ドレンポンプ・電動機	A格納容器冷卻材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	○	20回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
		2.分解点検 (ポンプ)						
B格納容器冷卻材ドレンポンプ・電動機	B格納容器冷卻材ドレンポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	-	20回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
		2.分解点検 (電動機)						
A格納容器サンプリングポンプ・電動機	A格納容器サンプリングポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	-	20回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
		2.分解点検 (ポンプ)						
B格納容器サンプリングポンプ・電動機	B格納容器サンプリングポンプ・電動機	1.機能・性能試験	低	B※	-	20回	液体廃棄物処理系設備検査	※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施
		2.分解点検 (電動機)						

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
放射形廃棄物の廃棄施設 〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕	A 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ) ) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施	
		2. 分解点検 (ポンプ)		GM	—	8回			
		3. 簡易点検 (電動機)		117M	—	20回			
	B 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	—	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ) ) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		GM	—	5回			
		3. 簡易点検 (電動機)		117M	—	20回			
	C 廃液給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験	低	B※	—	—	20回	液体廃棄物処理系設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：ポンプ) ) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施
		2. 分解点検 (ポンプ)		GM	—	7回			
		3. 簡易点検 (電動機)		117M	—	20回			
	放射形廃棄物の廃棄施設 〔原子炉格納容器本体外の廃棄物貯蔵設備又は廃棄物処理設備からの液体状の放射形廃棄物の漏えいの検出装置又は自動警報装置〕	液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えい防止に係る警報機能	1. 特性試験	低	B※	—	20回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施
			2. 機能・性能試験		1P	—	20回		
			3. 簡易点検 (電動機)		B※	—	20回		
4. 分解点検 (ポンプ)			GM		—	3回			
5. 簡易点検 (電動機)			117M		—	20回			
6. 簡易点検 (潤滑油入替)			39M		—	20回			
使用済樹脂スループ・電動機		1. 機能・性能試験	低	B	—	—	20回	液体廃棄物貯蔵設備・処理設備の警報機能検査	先行実施 (振動診断：6M (対象：ポンプ) ) ※ポンプまたは電動機の分解点検に合わせて実施 保全の有効性評価結果No. 7の反映
		2. 分解点検 (ポンプ)		130M	—	20回			
		3. 簡易点検 (電動機)		65M	—	20回			
		4. 簡易点検 (潤滑油入替)		13M	—	20回			
		5. 簡易点検 (電動機)		130M	—	20回			
		6. 簡易点検 (潤滑油入替)		65M	—	20回			
放射形廃棄物の廃棄施設〔気体、液体又は固体廃棄物処理設備〕その他の弁	1. 機能・性能試験	低・高	B	—	—	20回	1次系安全弁検査 1次系逆止弁検査 1次系異音破砕弁検査	一部先行実施	
	2. 分解点検		130M	—	20回				
	3. 簡易点検		65M	—	20回				
	4. 簡易点検		13M	—	20回				
	5. 簡易点検		65M	—	20回				
	6. 簡易点検		13M	—	20回				
放射形廃棄物の廃棄施設及び処理設備の漏えい防止に係るインターロック機能	1. 機能・性能試験	低	1P	—	—	20回	液体廃棄物貯蔵設備及び処理設備の漏えい防止に係るインターロック機能	保全の有効性評価結果No. 10の反映 一部先行実施	
	2. 分解点検		1P	—	20回				
	3. 簡易点検		1P	—	20回				
	4. 簡易点検		1P	—	20回				
	5. 簡易点検		1P	—	20回				
	6. 簡易点検		1P	—	20回				

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備(新技術)
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	格納容器内高圧レンジエアモニタ	1. 特性試験	高	13M	○	20回	エアモニタ機能検査	
	格納容器排気筒ガスモニタ (4R-21)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	1F	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒ガスモニタ (4R-26)	2. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器じんさいモニタ (4R-40)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器ガスモニタ (4R-41)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	復水器空相田器ガスモニタ (4R-43)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	一部定検起動後
	安全相機排気筒ガスモニタ (4R-46)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	一般相機排気筒ガスモニタ (4R-48A)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	一般相機排気筒ガスモニタ (4R-48B)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット排気ガスモニタ (4R-49)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	建屋内補設備放射線モニタ (4R-50B)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	蒸気発生器プロウワウン水モニタ (4R-55)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	高	1F	○	20回	放射線監視装置機能検査	一部定検起動後
	原子炉補機冷却水モニタ (4R-56)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	補助蒸気復水モニタ (4R-57)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	タービンサンポンプ水モニタ (4R-58)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	1次系建屋基礎冷却水モニタ (4R-59)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	A高圧度型主蒸気管モニタ (4R-65)	1. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	一部定検起動後
	B高圧度型主蒸気管モニタ (4R-66)	1. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	一部定検起動後
	C高圧度型主蒸気管モニタ (4R-67)	1. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	一部定検起動後
	1次冷却材連続モニタ (4R-70)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	ほう酸蒸留水モニタ (4R-71)	1. 機能・性能試験 2. 特性試験	低	1F	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器排気筒高圧レンジガスモニタ (低レンジ) (4R-80A)	1. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器排気筒高圧レンジガスモニタ (高レンジ) (4R-80B)	1. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒高圧レンジガスモニタ (低レンジ) (4R-81A)	1. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	補助建屋排気筒高圧レンジガスモニタ (高レンジ) (4R-81B)	1. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	A主蒸気管モニタ (4R-87)	1. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	B主蒸気管モニタ (4R-88)	1. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	C主蒸気管モニタ (4R-89)	1. 特性試験	高	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器内エアロゾルエアモニタ (4R-92)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	A充てんポンプ室エアモニタ (4R-94)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
放射線管理施設 [放射線管理用計測装置]	B充てんポンプ室エアモニタ (4R-94)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	C充てんポンプ室エアモニタ (4R-94)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	使用済燃料ピット区域エアモニタ (4R-95)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	建屋内計測器区域エアモニタ (4R-97)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	格納容器内オペレーティングフロアエアモニタ (4R-10)	1. 特性試験	低	13M	○	20回	放射線監視装置機能検査	
	可搬式使用済燃料ピット区域周辺エアモニタ2台	1. 特性試験	高	13M	○	—	放射線監視装置機能検査	プラント運転中又は施設定検停止中 20回施設定検時に設置
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] の他1式	1. 分解点検	高	130M	—	14回	1次系弁検査	
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] の他1式	1. 分解点検他	高	13M	○	20回		
	放射線管理施設 [放射線管理用計測装置] の他機器	1. 分解点検他	低	13M	○	20回		一部BMあり

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1P	○	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		4P	—	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
	B 格納容器排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1P	○	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		4P	—	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
	A 格納容器空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1P	○	20回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		4P	—	20回	1 次系換気空調設備検査	
	B 格納容器空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1P	○	20回	1 次系換気空調設備検査	
		2. 開放点検		4P	—	20回	1 次系換気空調設備検査	
	中央制御室非常用循環系 (A 系列)	1. 機能・性能試験	高	1P	—	22回※	中央制御室非常用循環系機能検査	3号設備 ※：3号での実績
	中央制御室非常用循環系 (B 系列)	1. 機能・性能試験	高	1P	○	20回	中央制御室非常用循環系機能検査	3号設備
		1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)		1P	—	22回※	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	※：3号での実績
	中央制御室非常用循環系 (A 系列)	1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)	高	X※1	—	22回※	1 次系換気空調設備検査	3号設備 ※1：よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施 ※2：3号での実績
		2. 機能・性能試験		4P	—	22回※	1 次系換気空調設備検査	3号設備 ※：3号での実績
	中央制御室非常用循環系 (B 系列)	1. 機能・性能試験	高	1P	○	20回	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
		1. よう素フィルタ性能検査 (よう素除去効率検査)		1P	—	22回※	中央制御室非常用循環系フィルタ性能検査	
	A 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	4P	—	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		4P	—	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
	B 補助建屋排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1P	○	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
		2. 開放点検		4P	—	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
	燃料取扱室排気フィルタユニット	1. 機能・性能試験	低	1P	○	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施
2. 開放点検		4P		—	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施	
3A 中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	22回※		3号設備 ※：3号での実績	
	2. 機能・性能試験		52M	—	22回※		3号設備 ※：3号での実績	
3B 中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	20回		3号設備 ※：3号での実績	
	2. 機能・性能試験		52M	—	20回		3号設備 ※：3号での実績	
3C 中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	20回		3号設備 ※：3号での実績	
	2. 機能・性能試験		52M	—	20回		3号設備 ※：3号での実績	
3D 中央制御室空調ユニット	1. 開放点検	高	52M	—	20回		3号設備 ※：3号での実績	
	2. 機能・性能試験		52M	—	20回		3号設備 ※：3号での実績	
A 格納容器排気ユニット	1. 開放点検	低	52M	—	20回		先行実施	
	2. 機能・性能試験		52M	—	20回		先行実施	
A 補助建屋排気ユニット	1. 開放点検	低	52M	—	20回		先行実施	
	2. 機能・性能試験		52M	—	20回		先行実施	
B 補助建屋排気ユニット	1. 開放点検	低	52M	—	20回		先行実施	
	2. 機能・性能試験		52M	—	20回		先行実施	
A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	260M	○	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	
	2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	20回		先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	
B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	260M	○	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	20回		先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	
A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	260M	○	18回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	
	2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	20回		先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	
A 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	260M	○	16回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	20回		先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	
B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	260M	○	20回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	
	2. 分解点検 (ファン)		CBM	—	18回		先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	
B 格納容器排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	260M	○	18回	1 次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	
	2. 分解点検 (電動機)		CBM	—	3回		先行実施 (振動診断：2M (対象：電動機))	

機器又は系統名	実施機 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備(診断技術)
放射線管理施設 [換気設備]	A 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	18回		
		3. 簡易点検 (電動機)		104M	—	18回		
	B 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	26M	○	20回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	19回		
		3. 簡易点検 (電動機)		104M	—	19回		
	C 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	26M	○	20回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回		
		3. 簡易点検 (電動機)		104M	—	20回		
	D 格納容器再循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	26M	○	20回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回		
		3. 簡易点検 (電動機)		104M	—	20回		
	A 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	12回		
		3. 簡易点検 (電動機)		91M	○	19回		
	B 格納容器空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	8回		
		3. 簡易点検 (電動機)		91M	—	19回		
	3A 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	—	22回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M) 3号設備 ※: 3号での実績
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回※		
		3. 簡易点検 (電動機)		78M	—	22回※		
	3B 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	—	22回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M) 3号設備 ※: 3号での実績
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	17回※		
		3. 簡易点検 (電動機)		78M	—	21回※		
3C 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M)	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	16回			
	3. 簡易点検 (電動機)		78M	○	20回			
3D 中央制御室空調ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M)	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	17回			
	3. 簡易点検 (電動機)		78M	—	20回			
3A 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	—	22回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機)) 3号設備 ※: 3号での実績	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	19回※			
	3. 簡易点検 (電動機)		78M	—	19回※			
3B 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	—	22回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機)) 3号設備 ※: 3号での実績	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	15回※			
	3. 簡易点検 (電動機)		78M	—	21回※			
3C 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回			
	3. 簡易点検 (電動機)		78M	○	20回			
3D 中央制御室循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	(振動診断: 4M (対象: 電動機))	
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	16回			
	3. 簡易点検 (電動機)		78M	—	20回			

機器又は系統名	実施装置 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(診断技術)		
放射線管理施設 [換気設備]	3A中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	—	22回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1M)		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	16回※	3号設備	※：3号での実績		
		2. 分解点検 (電動機)		17M	—	21回※	—	—	—	
		3B中央制御室非常用循環ファン・電動機		1. 機能・性能試験	高	1F	—	22回※	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1M)
				2. 分解点検 (ファン)		260M	—	17回※	3号設備	※：3号での実績
		3C中央制御室非常用循環ファン・電動機		1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1M)
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—		16回	—	—		
	3D中央制御室非常用循環ファン・電動機	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	(振動診断：1M)		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	16回	—	—		
	A補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：電動機))		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	19回	—	—		
		3. 簡易点検 (モーター内部清掃)		156M	—	20回	—	—	—	
	B補助建屋給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：電動機))		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	7回	—	—		
		2. 分解点検 (電動機)		3M	—	20回	—	—	—	
	A補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M)		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回	—	—		
		2. 分解点検 (電動機)		10M	—	20回	—	—	—	
	B補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M)		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回	—	—		
		2. 分解点検 (電動機)		10M	—	20回	—	—	—	
	C補助建屋排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M)		
		2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回	—	—		
		2. 分解点検 (電動機)		10M	—	20回	—	—	—	
A燃料取扱室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：電動機))			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回	—	—			
	2. 分解点検 (電動機)		3M	—	7回	—	—	—		
B燃料取扱室給気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M (対象：電動機))			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回	—	—			
	2. 分解点検 (電動機)		3M	—	20回	—	—	—		
A燃料取扱室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M)			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回	—	—			
	2. 分解点検 (電動機)		3M	—	20回	—	—	—		
B燃料取扱室排気ファン・電動機	1. 機能・性能試験	低	1F	○	20回	1次系換気空調設備検査	先行実施 (振動診断：4M)			
	2. 分解点検 (ファン)		260M	—	20回	—	—			
	2. 分解点検 (電動機)		3M	—	20回	—	—	—		
自動タンク	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高・低	1F	○	19回	1次系換気空調設備検査	一部先行実施		
		2. 分解点検 (電動機)		65M	—	19回	1次系安全弁検査	1次系弁検査		
放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	放射線管理施設 [換気設備] その他の弁	1. 機能・性能試験	高	B	—	20回	1次系弁検査	1次系弁検査		
		2. 分解点検		130M	—	20回	1次系弁検査	1次系弁検査		
放射線管理施設 [換気設備] その他の機器	放射線管理施設 [換気設備] その他の機器	1. 機能・性能試験	高	B	—	19回	1次系弁検査	1次系弁検査		
		2. 分解点検		65M	—	19回	1次系弁検査	1次系弁検査		
放射線管理施設 [換気設備] その他の機器	放射線管理施設 [換気設備] その他の機器	1. 機能・性能試験	高	13M～260M	○	20回	—	一部先行実施		
		2. 分解点検		13M～260M	○	20回	—	一部先行実施		

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定検回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する取組診断技術	
原子炉格納容器施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納容器	1. 漏えい率試験	高	3F	○	18回	原子炉格納容器全体漏えい率検査	10年に1回は設計圧力にて実施 (第21回施設定検において設計圧力にて実施)	
	エアロロック	1. 漏えい率試験 2. 分解点検 3. 簡易点検 (バスキング取組)	高	2回/3F 52M 13M	—	20回 20回 20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
機器搬入口	非常用 (1個)	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	—	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		2. 分解点検	高	52M	—	19回			
	1個	1. 漏えい率試験	高	13M	○	20回			
		2. 非破壊試験	高	2回/3F	—	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	[S]プログラムによる。 [別紙-6]	
	配管貫通部	1. 漏えい率試験	高	13M	○	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
		2. 開放点検	高	2回/3F	—	20回		※但し、成長1回/10F	
	電線貫通部	1. 開放点検	高	開放時※	○	20回			
		1. 漏えい率試験	高	2回/3F	—	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査		
	原子炉格納容器隔離弁 格納容器隔離信号 (T・V信号) により隔離される弁	1式	1. 漏えい率試験	高	2回/3F	—	20回	原子炉格納容器局部漏えい率検査	
		70個	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	原子炉格納容器隔離弁機能検査	
原子炉格納容器隔離弁	20個	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
	原子炉格納容器隔離弁	4V-CS-004A	1. 分解点検	高	52M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査	
4V-CS-004B		1. 分解点検	高	52M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CS-004C		1. 分解点検	高	52M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-DR-001A		1. 分解点検	高	130M	—	14回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-DR-001B		1. 分解点検	高	130M	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-DR-003A		1. 分解点検	高	130M	—	12回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-DR-003B		1. 分解点検	高	130M	—	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-RL-355		1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-RL-019		1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CS-007		1. 分解点検	高	52M	○	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-RL-354		1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-RL-018		1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-VR-001A		1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-VR-001B		1. 分解点検	高	130M	○	12回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-VR-002A		1. 分解点検	高	130M	—	11回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-VR-002B		1. 分解点検	高	130M	○	16回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-VA-508A		1. 分解点検	高	130M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CS-308		1. 分解点検	高	130M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CS-310		1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CC-489		1. 分解点検	高	130M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
4V-CC-482	1. 分解点検	高	130M	—	17回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
4V-CC-523	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
4V-CC-521	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
4V-CC-546	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
4V-CC-544	1. 分解点検	高	130M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
4V-VA-508B	1. 分解点検	高	130M	—	18回	原子炉格納容器隔離弁分解検査			
原子炉格納容器隔離弁駆動部	1式	1. 分解点検	高	52M~150M	—	20回	原子炉格納容器隔離弁分解検査		
	4個	2. 簡易点検 (漏えい試験)	高	13M~52M	○	20回			
1. 機能・性能試験		高	1F	○	20回	原子炉格納容器真空源なし弁機能検査			
原子炉格納容器隔離弁駆動部	4個	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	原子炉格納容器隔離弁機能検査		
		2. 簡易点検 (漏えい試験)	高	13M~52M	○	20回			

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(新技術)
原子炉格納施設 [原子炉格納容器]	原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の1式	1. 機能・性能試験 2. 分断点検	高・低	52M~130M 52M~130M	○	20回 20回	1次系弁検査 1次系弁検査 2次系弁検査	
	原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の1式	3. 簡易点検 (グラウンド パッキン取替)	高	52M	○	20回	1次系弁検査	
	原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の1式	1. 機能・性能試験 2. 分断点検	高	13M 13M~156M 13M~130M	○ ○ ○	20回 20回 20回	1次系弁検査	
原子炉格納施設 [圧力減速部]その他の安全設備	原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の1式	1. 分断点検 2. 機能・性能試験 (ポンプ、電動機、弁、非駆動部等含む)	低	26~195M	○	20回	原子炉格納容器安全系機器検査	一部BMあり
	原子炉格納施設 [原子炉格納容器] その他の1式	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	その他原子炉注水系統機器検査	[対象設備] ・ A 原子炉格納容器スプレイポンプによる代替初心注入系 20回隔設定定期検査より追加 [対象設備] ・ A、B 格納容器スプレイポンプ (取動診断：1M) その他原子炉注水系統ポンプ分解検査は 20回隔設定定期検査より追加 (取動診断：1M) 保安の有効性評価結果No.14の反映
	A 原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機	3. 機能・性能試験 (状態監視含む) 1. 分断点検 (ポンプ)	高	6M 130M	○ -	20回 -	運転中の主要機器機器検査 原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査 その他原子炉注水系統ポンプ分解検査	
	B 原子炉格納容器スプレイポンプ・電動機	1. 分断点検 (電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M 26M	○ -	18回 20回	運転中の主要機器機器検査	
	A 格納容器スプレイポンプ	1. 分断点検 (電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M 195M	○ -	14回 19回	原子炉格納容器安全系ポンプ分解検査	
	B 格納容器スプレイポンプ	1. 分断点検 (電動機) 2. 簡易点検 (潤滑油入替他)	高	130M 195M	○ -	19回 20回	1次系熱交換器検査	
	A 格納容器スプレイポンプ	1. 開放点検 (管側) 2. 開放点検 (胴側)	高	130M 195M	○ -	19回 19回	1次系熱交換器検査	
	B 格納容器スプレイポンプ	1. 開放点検 (管側) 2. 開放点検 (胴側)	高	130M 195M	○ -	19回 20回	1次系熱交換器検査	
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	1. 分断点検 2. 非破壊試験	高	130M	○	20回	1次系熱交換器検査	
	原子炉格納容器スプレイ系主要弁	1. 分断点検 2. 非破壊試験	高	130M	○	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
原子炉格納容器スプレイ系主要弁	4V-CF-024A	1. 分断点検	高	130M	○	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4V-CF-024B	1. 分断点検	高	130M	○	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4V-CF-054A	1. 分断点検	高	130M	○	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4V-CF-054B	1. 分断点検	高	130M	○	17回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4V-CF-001A	1. 分断点検	高	130M	○	15回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4V-CF-001B	1. 分断点検	高	130M	○	16回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4V-CF-003A	1. 分断点検	高	130M	○	11回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	4V-CF-003B	1. 分断点検	高	130M	○	12回	原子炉格納容器安全系主要弁分解検査	
	1式	1. 分断点検	高	156M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	4V-VS-101A	1. 分断点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	4V-VS-101B	1. 分断点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	4V-VS-102A	1. 分断点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	4V-VS-102B	1. 分断点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
	4V-VS-103A	1. 分断点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査	
4V-VS-103B	1. 分断点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
4-PCV-2465	1. 分断点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
4-PCV-2485	1. 分断点検	高	65M	○	20回	可燃性ガス濃度制御系主要弁分解検査		
よう薬除去薬品タンク	1. 開放点検	高	130M	○	17回	1次系真空破砕弁検査		
よう薬除去薬品タンクハキユームリフ弁2台	1. 分断点検	高	130M	○	17回	1次系真空破砕弁検査		
Aニュートン空気浄化系	1. 機能・性能試験	高	1F	○	20回	Aニュートン空気浄化系機器検査		



機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(診断技術)
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備]	A, Bアニュウラム空気浄化フィルタユニット	1. よう素フィルタ性能検査 2. 1. よう素フィルタ性能検査 (補えい率検査) 2. 開放点検 (フィルタ取替)	高	1F 1F X※	○ ○ ○	20回 20回 20回	A. ニュウラム循環排気系フィルタ性能検査 B. ニュウラム循環排気系フィルタ性能検査	A系、B系交互に実施 ※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
	A, Bアニュウラム空気浄化フィルタユニット A系 B系	1. 機能・性能試験 2. 開放点検	高	1F 4F	○ ○	20回 20回	1. 一次系換気空調設備検査 1. 一次系換気空調設備検査	
Aアニュウラム空気浄化ファン・電動機	Aアニュウラム空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験 (ファン) 2. 分解点検 (電動機)	高	1F 260M	○ -	20回 20回	1. 一次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
		1. 機能・性能試験 (ファン) 2. 分解点検 (電動機)	高	78M 260M	○ -	20回 20回	1. 一次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
安全相機室空気浄化フィルタユニット	安全相機室空気浄化フィルタユニット	1. 機能・性能検査 (よう素フィルタ性能検査) 2. 開放点検 (フィルタ取替)	高	1F 1F X※	○ ○ ○	20回 20回 20回	1. 一次系換気空調設備検査	※よう素フィルタ性能検査結果により適宜実施
		1. 機能・性能試験 2. 開放点検	高	4F 260M	○ -	20回 20回	1. 一次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
A安全相機室空気浄化ファン・電動機	A安全相機室空気浄化ファン・電動機	1. 機能・性能試験 2. 分解点検 (ファン)	高	1F 260M	○ -	20回 12回	1. 一次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
		1. 機能・性能試験 (電動機) 2. 分解点検 (ファン)	高	78M 260M	○ -	20回 20回	1. 一次系換気空調設備検査	(振動診断: 1M)
静的耐震・水素再結合装置	静的耐震・水素再結合装置	1. 外観点検 2. 機能・性能試験	高	130M 1F	- ○	9回 -	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
		1. 外観点検 2. 機能・性能試験	高	5F 1F	- ○	- -	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
原子炉格納容器水素再結合装置	原子炉格納容器水素再結合装置	1. 外観点検 2. 機能・性能試験	高	5F 5F	- ○	- -	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
		1. 外観点検 2. 機能・性能試験	高	5F 1F	- ○	- -	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
原子炉格納容器水素再結合装置	原子炉格納容器水素再結合装置	1. 外観点検 2. 機能・性能試験	高	130M 1F	- ○	9回 -	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
		1. 外観点検 2. 機能・性能試験	高	5F 1F	- ○	- -	原子炉格納容器水素再結合装置機能検査	20回施設定検時に設置 20回施設定期検査より追加
1次系計測制御装置 原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁	1次系計測制御装置 原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の弁	1. 特性点検 1. 機能・性能試験	高	1F B	○ -	20回 20回	計測制御系監視機能検査	
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	130M B 65M 65M	○ ○ ○ ○	20回 20回 20回 20回	1. 一次系弁検査 1. 一次系弁検査 1. 一次系弁検査 1. 一次系弁検査	
原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の機器	原子炉格納施設 [圧力低減設備その他の安全設備] その他の機器	1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	130M B 65M 65M	○ ○ ○ ○	20回 20回 20回 20回	1. 一次系弁検査 1. 一次系弁検査 1. 一次系弁検査 1. 一次系弁検査	
		1. 機能・性能試験 2. 分解点検	高	130M B 65M 65M	○ ○ ○ ○	20回 20回 20回 20回	1. 一次系弁検査 1. 一次系弁検査 1. 一次系弁検査 1. 一次系弁検査	保全の有効性評価結果No.1の反映 一部BMあり
その他AM (代替再循環、格納容器内注水) 機器	その他AM (代替再循環、格納容器内注水) 機器	1. 機能・性能試験	高	130M	○	20回	1. 一次系弁検査	
		1. 機能・性能試験	高	130M	○	20回	1. 一次系弁検査	

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の 重要性	保方式 又は種度	今回の実 施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術)
原子力設備 [その他設備]	クラス1機器(使用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器使用期間中検査対 象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10V 1V	○ ○	20回 20回	クラス1機器使用期間中検査 クラス1機器使用期間中検査	ISTプロログラムによる。 [別紙-1]
	クラス2機器(使用期間中検査対象) (重大事故等クラス2機器使用期間中検査対 象含む)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10V 10V	○ ○	20回 20回	クラス2機器使用期間中検査 クラス2機器使用期間中検査	ISTプロログラムによる。 [別紙-2]
	クラス3機器(使用期間中検査対象)	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10V 10V	○ ○	20回 20回	クラス3機器使用期間中検査 クラス3機器使用期間中検査	ISTプロログラムによる。 [別紙-3]
	クラス1機器N基金使用部位(重大事故等 クラス2機器使用期間中検査対象含む) クラス2管(原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器使用期間中検査対 象含む)	1. 非破壊試験 1. 非破壊検査	高	5~10V ○	○	18回	使用期間中特別検査のうちクラス1機器 N基金使用部位特別検査	ISTプロログラムによる。 [別紙-4]
	クラス2管(原子炉格納容器内) (重大事故等クラス2機器使用期間中検査対 象含む)	1. 非破壊試験	高	25%/10V -	-	19回	使用期間中特別検査のうちクラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査	ISTプロログラムによる。 [別紙-5]
	蒸気発生器管台(重大事故等クラス2機器使 用期間中検査対象)	1. 非破壊試験	高	10V -	-	18回	使用期間中検査のうち蒸気発生器管台溶 接部の健全性確認検査	ISTプロログラムによる。 [別紙-1]
	重大事故等クラス2機器	1. 非破壊試験 2. 漏えい試験	高	10V 10V	○ ○	20回 20回	重大事故等クラス2機器使用期間中検査 重大事故等クラス2機器使用期間中検査	ISTプロログラムによる。 [別紙-7]
	クラス3機器、クラス4管、排気筒及び安全 上重要なダクト副圧部(クラス3機器1S1 は除く)	1. 外観点検	高・低	100%/5V~ 100%/10V	-	20回	構造健全性検査	
	RCPRのベント・ドレン弁の閉止弁 レンストレイント	1. 漏えい試験 1. 外観点検	高 高	1F 100%/10V	○ -	20回 16回	構造健全性検査 レンストレイント検査	
	原子力設備 [その他設備] その他の弁	1. 機能・性能試験 2. 分断点検	高・低	B 13M	- ○	20回 20回	1 次系安全弁検査 1 次系遮止弁検査	
原子力設備・タービン設備 [その他設備]	原子力設備 [その他設備]	1. 分断点検 1. 分断点検他	高 低	13M~13MM 12M~156M	○ ○	20回 20回		一部BMあり 一部先行実施
	軸受クラスS、Bに属する設備の支持構造物 (クラス1、2、3集束期間中検査対象機器を 除く)	1. 外観点検	高・低	100%/10V	○	20回	動員健全性検査	
	高圧タービン	1. 分断点検他	高	130M~260M	-	20回		
	タービン [車室、円板、隔壁、噴口、翼、 車軸]	1. 開放点検 2. 組立取付点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃時)	高	26M B 13M	- ○ ○	20回 20回 20回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃時)	高	26M 2F 13M	○ - ○	19回 20回 20回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
		1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃時)	高	26M 2F 13M	○ - ○	19回 20回 20回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	第1低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃時)	高	26M 2F 13M	○ - ○	19回 20回 20回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	第2低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃時)	高	26M 2F 13M	○ - ○	19回 20回 20回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	第3低圧タービン	1. 開放点検 2. 外観点検 3. 簡易点検 (軸受箱内部 清掃時)	高	26M 2F 13M	○ - ○	19回 20回 20回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン開放検査	
	ロータ	1. 組立取付点検 2. 負荷点検	高	B 1F	○ ○	20回 20回	蒸気タービン開放検査 蒸気タービン性能検査	タービン開放点検に合わせて実施 一部点検起動後
蒸気タービン本体及び附属設備	1. 保安要點点検 2. 負荷点検	高	1F 1F	○ ○	20回 20回	総合負荷性能検査	一部点検起動後 総合負荷性能検査	



機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する 設備診断技術 (振動診断: 6M (対象: 電動機))	
蒸気タービン 〔復水器〕	A 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	○	20回		(振動診断: 6M (対象: 電動機))	
		2. 簡易点検 (電動機)		104M	○	13回			
		1. 簡易点検 (ストレーナ溝槽)		13M	○	20回			
	B 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	20回		(振動診断: 6M (対象: 電動機))	
		2. 簡易点検 (ストレーナ溝槽)		104M	—	17回			
		1. 簡易点検 (ストレーナ溝槽)		13M	○	20回			
	C 復水ポンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	—	20回		(振動診断: 6M (対象: 電動機))	
		2. 簡易点検 (ストレーナ溝槽)		104M	—	16回			
		1. 簡易点検 (ストレーナ溝槽)		13M	○	20回			
	蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕	蒸気タービン [復水器] その他機器 1式	1. 分解点検他	高	78M~260M	○	20回		一部BMあり
			1. 分解点検他		13M~260M	○	20回		
			1. 開放点検		26M	—	20回	蒸気タービン開放検査	
A 部分分種加熱器 制御 (発電機側)		1. 開放点検	高	130M	—	18回		蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	20回			
		1. 開放点検		130M	—	20回	蒸気タービン開放検査		
B 部分分種加熱器 制御		1. 開放点検	高	26M	○	19回		蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	17回			
		1. 開放点検		130M	—	17回	蒸気タービン開放検査		
B 部分分種加熱器 制御 (発電機側)		1. 開放点検	高	130M	—	19回		蒸気タービン開放検査	
		2. 非破壊試験		130M	—	19回			
		1. 開放点検		26M	—	20回	2次系容器検査		
A 駆動器	1. 開放点検	高	26M	○	19回		2次系容器検査		
	2. 非破壊試験		13M	○	20回		2次系容器検査		
	1. 開放点検		65M	○	16回		2次系熱交換器検査		
B 駆動器	1. 開放点検	高	65M	○	16回		2次系熱交換器検査		
	2. 錆えい試験		130M	—	16回				
	3. 非破壊試験		65M	—	20回		2次系熱交換器検査		
第1 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	—	17回				
	2. 錆えい試験		65M	—	17回				
	3. 非破壊試験		130M	—	20回		2次系熱交換器検査		
第1 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	20回				
	2. 錆えい試験		130M	—	17回				
	3. 非破壊試験		65M	—	20回		2次系熱交換器検査		
第1 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	20回				
	2. 錆えい試験		130M	—	18回				
	3. 非破壊試験		65M	○	20回		2次系熱交換器検査		
第2 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	○	20回				
	2. 錆えい試験		130M	○	16回				
	3. 非破壊試験		65M	—	16回		2次系熱交換器検査		
第2 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	20回				
	2. 錆えい試験		130M	—	17回				
	3. 非破壊試験		65M	—	20回		2次系熱交換器検査		
第2 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	—	20回				
	2. 錆えい試験		130M	—	18回				
	3. 非破壊試験		65M	—	20回		2次系熱交換器検査		

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(診断技術)	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する熱交換器〕	第3 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	-	20回	2次系熱交換器検査		
		2. 漏えい試験							
		3. 非破壊試験							
	第3 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	-	17回	2次系熱交換器検査		
		2. 漏えい試験							
		3. 非破壊試験							
	第3 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	-	20回	2次系熱交換器検査		
		2. 漏えい試験							
		3. 非破壊試験							
	第4 A 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	-	18回	2次系熱交換器検査		
		2. 漏えい試験							
		3. 非破壊試験							
第4 B 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	65M	-	19回	2次系熱交換器検査			
	2. 漏えい試験								
	3. 非破壊試験								
第4 C 低圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	-	20回	2次系熱交換器検査			
	2. 漏えい試験								
	3. 非破壊試験								
第6 A 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	-	16回	2次系熱交換器検査			
	2. 漏えい試験								
	3. 非破壊試験								
第6 B 高圧給水加熱器	1. 開放点検	高	130M	-	19回	2次系熱交換器検査			
	2. 漏えい試験								
	3. 非破壊試験								
グラントン蒸気復水器	1. 開放点検	高	65M	-	20回	2次系熱交換器検査			
	2. 漏えい試験								
	3. 非破壊試験								
蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する給水ポンプ及び貯水設備並びに給水処理設備〕	給水、復水系統	1. 機能・性能試験 (ポンプ)	高	1P	○	20回	蒸気タービン附属設備機能検査	定検起動後	
		2. 漏えい試験							
		3. 非破壊試験							
	Aタービン駆主給水ポンプ	1. 機能・性能試験 (ポンプ)	高	B	-	-	20回	2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)							
		3. 簡易点検 (オイルフィレット取替)							
	Bタービン駆主給水ポンプ	1. 機能・性能試験 (ポンプ)	高	26M	-	-	20回	2次系ポンプ分解検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)							
		3. 簡易点検 (オイルフィレット取替)							
	電動主給水ポンプ・電動機	1. 機能・性能試験 (ポンプ)	高	13M	○	○	20回	2次系ポンプ機能検査	
		2. 分解点検 (ポンプ)							
		3. 簡易点検 (オイルフィレット取替)							
Aタービン駆主給水ブースタポンプ	1. 分解点検 (ポンプ)	高	52M	-	-	20回	2次系ポンプ分解検査		
	2. 簡易点検 (ストレーナ)								
	3. 簡易点検 (オイルフィレット取替)								
Bタービン駆主給水ブースタポンプ	1. 分解点検 (ポンプ)	高	13M	○	○	20回	2次系ポンプ機能検査		
	2. 簡易点検 (ストレーナ)								
	3. 簡易点検 (オイルフィレット取替)								
電動主給水ブースタポンプ	1. 分解点検 (ポンプ)	高	13M	○	○	20回	2次系ポンプ分解検査		
	2. 簡易点検 (ストレーナ)								
	3. 簡易点検 (オイルフィレット取替)								

機器又は系統名	実施数 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備診断技術)	
蒸気タービン 〔蒸気タービンに付属する給水ポンプ及び排水設備並びに給水処理設備〕	A 復水ポンプ・スタンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	19回			
		2. 簡易点検 (電動機)							
		1. 分解点検 (電動機)							
	B 復水ポンプ・スタンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	20回			
		2. 簡易点検 (電動機)							
		1. 分解点検 (電動機)							
	C 復水ポンプ・スタンプ・電動機	1. 分解点検 (ポンプ)	高	39M	-	20回			
		2. 簡易点検 (電動機)							
		1. 分解点検 (電動機)							
	A 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	○	11回		2 次系容器検査	
		1. 開放点検							
		1. 開放点検							
B 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	-	12回		2 次系容器検査		
	1. 開放点検								
	1. 開放点検								
C 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	-	13回		2 次系容器検査		
	1. 開放点検								
	1. 開放点検								
D 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	-	14回		2 次系容器検査		
	1. 開放点検								
	1. 開放点検								
E 復水脱塩塔	1. 開放点検	高	130M	-	15回		2 次系容器検査		
	1. 開放点検								
	1. 開放点検								
復水タンク	1. 開放点検	高	65M	-	19回				
	2. 簡易点検 (通気管金網清掃)								
	1. 開放点検								
蒸気タービン [蒸気タービンに付属する給水ポンプ及び排水設備並びに給水処理設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	26M~260M 13M~260M	○	20回		一部先行実施 一部BMあり 一部先行実施	
	1式	1. 開放点検							
	1式	1. 開放点検							
蒸気タービン [蒸気タービンに付属する管等]	1式	1. 開放点検	高	肉厚管理指針による	○	20回	蒸気タービン開放検査		
	1式	2. 非破壊試験							
	1式	1. 外観点検							
蒸気タービン [蒸気タービン以外の主蒸気系統・給水系統・抽気系統・ドレン系統・復水系統・その他系統] ※ ※配管の他、ポンプ、熱交換器、弁等を含む (外観点検のみ)	1式	1. 非破壊試験	高	100%/10Y	○	20回	2 次系配管検査	定検起動後	
	1式	2. 非破壊試験							
	1式	肉厚管理指針による							
蒸気タービン	15個	1. 機能・性能試験 (駆動調査)	高	26M~52M	○	20回	タービンハイパス弁機能検査		
	15個	2. 分解点検							
	15個	3. 簡易点検 (グラウンドハンギン後)							
タービンハイパス弁駆動部	15個	1. 分解点検	高	13M~65M	○	20回			
	1式	2. 簡易点検 (特種試験)							
	1式	1. 機能・性能試験							
蒸気タービン [その他設備] その他の弁	1式	1. 機能・性能試験	高・低	B	○	20回	1 次系安全弁検査 2 次系弁検査 2 次系安全弁検査		
	1式	2. 分解点検							
	1式	1. 機能・性能試験							
蒸気タービン [その他設備] その他の弁駆動部	1式	1. 機能・性能試験	高	52M	-	20回	1 次系安全弁検査 2 次系弁検査		
	1式	2. 分解点検							
	1式	3. 簡易点検 (特種試験)							
蒸気タービン [その他設備] その他機器	1式	1. 分解点検他	高	13M~52M 13M~260M	○	20回		一部先行実施 保全の有効性評価結果No.1,15,16の反 一部BMあり 一部先行実施	
	1式	1. 分解点検							
	1式	1. 分解点検							

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式 又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( )内は適用する 設備診断技術)
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	浸水防止壁	1.式	高	1F	○	20回		20回施設設定検時に設置
	圧縮防止壁	1.式	高	10Y	—	—		20回施設設定検時に設置
	水蒸気	1.式	高	1Y	○	20回		プラント運転中又は施設設定検時中止 20回施設設定検時に設置
蒸気補えい検知システム	1.式	1.機能・性能試験	低	1F	○	20回		20回施設設定検時に設置
		2.外観点検	低	B※	○	20回		※ポンプまたは電動機の分解点検に合 わせて実施 20回施設設定検時に設置
		1.機能・性能試験 (ポン プ、電動機含む)	低	—	—	—		20回施設設定検時に設置
湧水ポンプ排水系統	2台	1.外観点検	低	1Y	○	20回		20回施設設定検時に設置
		1.分輝点検	低	33M	—	—		20回施設設定検時に設置
		1.機能・性能試験	低	B	○	20回		20回施設設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [浸水防護施設]	1.式	1.分輝点検	低	182M	—	18回		20回施設設定検時に設置
		1.外観点検	高・低	1F~8F	○	20回		20回施設設定検時に設置
		1.分輝点検	高・低	13M~208M	○	20回		20回施設設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備]	1.式	1.分輝点検	高	39M~156M	○	20回		20回施設設定検時に設置
		1.機能・性能試験	高	52M~156M	○	20回		20回施設設定検時に設置
		2.分輝点検	高	13M~104M	○	20回		20回施設設定検時に設置
その他発電用原子炉の附属施設 [常用電源設備]	1.式	1.分輝点検	低	13M~240M	○	20回		20回施設設定検時に設置
		1.機能・性能試験	低	260M	—	—		一部先行実施 一部BMあり
		2.分輝点検	低	12M~13M	—	—		20回施設設定検時に設置
非常用電源設備 [非常用発電装置]	2台	1.機能・性能試験	高	1F	○	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機の作動検査) 非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.分輝点検	高	1F	○	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.機能・性能試験	高	130M	—	—		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
緊急注入信管及び液体納容器スプレイン信管送信 時にディーゼル発電機に電源を求める機器 (ストン連検核、シリンドカカバー、クランク 軸)	4台 No. 1, 8 No. 2, 3, 9, 10 No. 4, 5, 11, 12 No. 6, 13	1.分輝点検	高	130M	○	16回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.分輝点検	高	130M	—	18回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.分輝点検	高	130M	—	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
Bディーゼル機関のシリンドカカバー、クランク 軸)	No. 1, 8 No. 2, 3, 9, 10 No. 4, 5, 11, 12 No. 6, 13	1.分輝点検	高	130M	—	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.分輝点検	高	130M	—	17回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.分輝点検	高	130M	—	19回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
Aディーゼル機関の吸気弁	No. 7, 14	1.分輝点検	高	130M	—	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.分輝点検	高	26M	○	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.分輝点検	高	26M	—	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
Bディーゼル機関の排気弁	No. 7, 14	1.分輝点検	高	26M	○	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.分輝点検	高	26M	—	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.分輝点検	高	26M	—	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
Aディーゼル機関の燃料噴射弁	No. 7, 14	1.分輝点検	高	13M	○	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.分輝点検	高	13M	—	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		1.分輝点検	高	13M	—	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
ディーゼル発電機付原保護	1.式	1.外観点検	高	13M	○	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		2.非破壊試験	高	13M~78M	○	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
		3.機能・性能試験	高・低	1F	○	20回		非常用予備発電装置機能検査 (ディーゼ ル発電機定格容量検査)
空冷式非常用発電装置	2台	1.機能・性能試験	高	1F	○	—		その他非常用発電装置の機能検査 その他非常用発電装置の付属施設検査
		2.分輝点検	高	8V	—	—		可搬型代替電源設備検査
		1.機能・性能試験	高	1Y	○	—		可搬型代替電源設備検査
可搬式代替駆込圧注水ポンプ用電源車	2台	1.機能・性能試験	高	1Y	○	—		可搬型代替電源設備検査
		2.分輝点検	高	13M~234M	○	20回		可搬型代替電源設備検査
		1.分輝点検	高	13M~182M	○	20回		可搬型代替電源設備検査
非常用電源設備 [非常用発電装置] その他機 器	1.式	1.分輝点検	低	13M~182M	○	20回		可搬型代替電源設備検査
		1.機能・性能試験	高	1Y	○	—		可搬型代替電源設備検査
		2.分輝点検	高	8V	—	—		可搬型代替電源設備検査

機器又は系統名	実施教 (機器名)	点検及び試験の項目	保全の重要度	保全方式又は頻度	今回の実施計画	前回実施時期 (定例回次)	検査名	備考 ( ) 内は適用する設備(診断技術)
非常用電源設備 [その他の電源装置]	直流電源装置(蓄電池)	2組 (60個/組)	高	1F 1F 2回/年	○ ○ -	20回 20回	直流電源系機能検査 直流電源系作動検査	
	器具用電源	4台	高	1F 13M	○ ○	19回 20回	インバータ機能検査	
可搬型パナフレリ (加圧器運かし弁用)	2脚	1. 機能・性能試験 2. 簡易点検 (充電試験)	高	1F	○	-		20回施設定検時に設置
	2脚	1. 機能・性能試験 2. 外観点検	高	1F	○	-		20回施設定検時に設置
土木建築設備	非常用電源設備 [その他の電源装置] その他 1式	1. 機能・性能試験 1. 分解点検	高	6M~180M	○	20回		保全の有効性評価結果No. 20の反映
	機器	1. 分解点検	低	120~180M	○	20回		
	原子炉建屋	1. 外観点検	高・低	1F	○	20回		プラント運転中又は定検停止中
	外周4建屋	1. 外観点検	高	1F	○	20回		プラント運転中又は定検停止中
	中間建屋	1. 外観点検	高	1F	○	20回		プラント運転中又は定検停止中
	原子炉補助建屋	1. 外観点検	高	1F	○	20回		プラント運転中又は定検停止中
	燃料取扱建屋	1. 外観点検	高	1F	○	20回		プラント運転中又は定検停止中
	制御建屋	1. 外観点検	高	1F	○	20回		プラント運転中又は定検停止中
	燃料取扱用水タンク建屋	1. 外観点検	高	1F	○	20回		プラント運転中又は定検停止中
	アイゼンル発電機建屋	1. 外観点検	高	1F~1F	○	20回		プラント運転中又は定検停止中
取水口設備	1. 外観点検	高	1F~1F	○	20回		プラント運転中又は定検停止中	
プラント総合	原子炉及びその附属設備(補助ボイラー及び弁常用予備発電装置を除く)	1. 総合性能試験	高	1F	○	20回	総合負荷性能検査	定検起動後



# クラス1 機器供用期間中検査

## 検査間隔延長プログラム

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	備考
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	
B1-102	B-A	下部の床手溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-	第17回	第18回	-	第19回 サイクル								第21回 サイクル	第22回 サイクル	-	(重大事故等クラス2機器)
		上部と下部との間溶接継手	体積	5%	1	水中UT (内面)	5%	-			-		5%									-	(重大事故等クラス2機器)
B2-111	B-B	下部およびランジョンとの 間溶接継手	体積	5%	1	水中UT (内面)	5%	-			-		5%									-	(重大事故等クラス2機器)
		トランジョンと下部溶接継手の 間溶接継手	体積	5%	1	水中UT (内面)	5%	-			-		5%									-	(重大事故等クラス2機器)
B3-105	B-C	上部と上部間フランジとの溶接継手	体積	可能範囲 各100%	1	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-			-		可能範囲 各100%									-	(重大事故等クラス2機器)
B3-110	B-D	冷却材入口管台と間との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-			-		A B C 可能範囲 各100%									-	(重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台と間との溶接継手	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-			-		A B C 可能範囲 各100%									-	(重大事故等クラス2機器)
B3-20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-			-		A B C 可能範囲 各100%									-	(重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面)	可能範囲 各100%	-			-		A B C 可能範囲 各100%									-	(重大事故等クラス2機器)
B5-10	B-F	冷却材入口管台とサーフェンドの 溶接継手(呼び径100mm以上)※1	体積及び 表面	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面) PT	可能範囲 各100%	-			-		A (P,T) A B C (U,T) 可能範囲 各100%							B (P,T) 100%	C (P,T) 100%	-	H29年、690系N適合会に精修実施 (重大事故等クラス2機器)
		冷却材出口管台とサーフェンドの 溶接継手(呼び径100mm以上)※1	体積及び 表面	可能範囲 各100%	3	水中UT (内面) PT	可能範囲 各100%	-			-		A (P,T) A B C (U,T) 可能範囲 各100%							B (P,T) 100%	C (P,T) 100%	-	H29年、690系材適合会に精修実施 (重大事故等クラス2機器)
B6-10	B-G-1	ナット	VT-1	100%	58	VT-1 (溝えい部又は 取外し時)	100% 58	-	10	10	-		13							13	12	-	(重大事故等クラス2機器)
B6-30	B-G-1	スタッドナット	体積	100%	58	UT	100% 58	-	10	10	-		13							13	12	-	(重大事故等クラス2機器)
B6-40	B-G-1	胴フランジネジ穴のネジ部	体積	100%	58	UT	100% 58	-			-		19								19	-	(重大事故等クラス2機器)
B6-50	B-G-1	ワッシャー	VT-1	100%	58	VT-1 (溝えい部又は 取外し時)	100% 58	-	10	10	-		13							13	12	-	(重大事故等クラス2機器)
B7-10	B-G-2	マーマンカップリング	VT-1	25%	3	VT-1 (溝えい部又は 取外し時)	25% 1	-			-		1									-	(重大事故等クラス2機器)

※1：新製製造執行(H25年7月)後は、継手規格 JSME S MA1-2008を適用する。  
※2：新製製造執行(H25年7月)後は、継手規格 JSME S MA1-2008を適用し、mmはAと読み替える。

検査間隔延長プログラム

項目番号		カテゴリー		検査対象箇所		検査方法		検査の範囲及び程度		設備数		検査方法		検査の範囲及び程度		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)												備考
						JISIE S MA1-2002※																						
発電用原子力設備規格 維持規格(2002年版訂版)																												
61.10		6-P-1		炉心内部		VT-3		可能範囲 100% 各検査時期毎		1		VT-3		可能範囲 100% 各検査時期毎		第21回保全サイクル												維持規格JISIE S MA1-2002
61.10		6-P-1		炉心内部		VT-3		全範囲の 7.5% 各検査時期毎		1		VT-3		可能範囲 100% 各検査時期毎		第22回保全サイクル												維持規格JISIE S MA1-2008 (重大事故等クラス2機器)
61.60		6-P-1		炉心領域外の内部取付物		VT-3		可能範囲 100%		4		VT-3		可能範囲 100% 4		第19回保全サイクル												維持規格JISIE S MA1-2002
				上部炉心支持構造物の内部取付物		VT-3		全範囲の 7.5%		1		VT-3		可能範囲 100%														維持規格JISIE S MA1-2008 (重大事故等クラス2機器)
61.40		6-P-1		下部炉心支持構造物の内部取付物		VT-3		全範囲の 7.5%		1		VT-3		可能範囲 100%														維持規格JISIE S MA1-2008 (重大事故等クラス2機器)
				炉心内部取付物		VT-3		全範囲の 7.5%		4		VT-3		可能範囲 100%														維持規格JISIE S MA1-2008 (重大事故等クラス2機器)
61.70		6-P-2		上部炉心支持構造物		VT-3		可能範囲 100%		1		VT-3		可能範囲 100%														維持規格JISIE S MA1-2002
				下部炉心支持構造物		VT-3		可能範囲 100%		1		VT-3		可能範囲 100%														維持規格JISIE S MA1-2002
61.50		6-P-2		上部炉心支持構造物		VT-3		全範囲の 7.5%		1		VT-3		可能範囲 100%														維持規格JISIE S MA1-2008 (重大事故等クラス2機器)
				下部炉心支持構造物		VT-3		全範囲の 7.5%		1		VT-3		可能範囲 100%														維持規格JISIE S MA1-2008 (重大事故等クラス2機器)
B14.10		B-0		制御棟駆動ハウジングの溶接継手 (上部)		体積又は 表面		最外層の 2.5%		最外層の 2.5% (全2.5)		PT		最外層の 2.5% 5														第17回定検にて上蓋取替え実施 (重大事故等クラス2機器)
				制御棟駆動ハウジングの溶接継手 (下部)		表面		最外層の 2.5%		最外層の 2.5% (全2.5)		PT		最外層の 2.5% 6														第17回定検にて上蓋取替え実施 (重大事故等クラス2機器)
B15.10		B-P		圧力保持範囲		VT-2		可能範囲 100%		-		VT-2		可能範囲 100%														維持規格JISIE S MA1-2008 (重大事故等クラス2機器)
F1.41		F-A		支持構造物 (シャワー基礎部分)		VT-3		2.5%		6		VT-3		2.5% 2		C出口 1												維持規格JISIE S MA1-2008 (重大事故等クラス2機器)

※：新規検査基準施行(15年7月)後は、維持規格 JISIE S MA1-2008を適用する。

検査間隔延長プログラム

項目番号		検査対象箇所		検査方法	検査の範囲及び程度	基準数	検査方法	検査の範囲及び程度	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	備考	
高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)																									
2. 加圧器 (1/1)																									
発電用原子力設備規格 維持規格(2002年版訂版) JSME S MA1-2002※																									
82.11	B-B	上部筒と上部接続との溶接手	体積	5%	1	UT	5%																		(重大事故等クラス2機器)
82.12	B-B	下部筒と下部接続との溶接手	体積	5%	1	UT	5%				5%														(重大事故等クラス2機器)
82.13	B-B	上部筒の底手溶接手	体積	各10%	2	UT	各10%			A10%															(重大事故等クラス2機器)
82.13	B-B	下部筒の底手溶接手	体積	各10%	2	UT	各10%				A10%														(重大事故等クラス2機器)
83.30	B-D	上部筒と下部筒との溶接手	体積	5%	1	UT	5%																		(重大事故等クラス2機器)
83.30	B-D	管台と器との溶接手	体積	25%	6	UT	25% 2			1 (サージ管台)															(重大事故等クラス2機器)
83.40	B-D	管台内面のぬみ部分	体積	25%	6	UT	25% 2			1 (サージ管台)															(重大事故等クラス2機器)
管台とサーフェスエンドの溶接手 (呼び径100mm以上) ※1																									
加圧器遮り弁管台																									
加圧器安全弁管台																									
加圧器スフレイ管台																									
加圧器サージ管台																									
85.40	B-F	マンホールの取付けボルト	VT-1 (濡えい厚又は取外し時)	25%	16	VT-1	25% 4				1														(重大事故等クラス2機器)
85.40	B-F	支持部材の管端への取付け溶接手 (スカーポート溶接手)	表面	7.5%	1	PT	7.5%																		H27年、690系WJ基金に補修要 な (重大事故等クラス2機器)
85.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%		VT-2	可能範囲 100%			可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	可能範囲 100%	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物 (スカーポート、基礎ボルト)	VT-3	25%	1	VT-3	25% 1																		(重大事故等クラス2機器)

※ : 新規製造品(2005年7月)後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用する。  
 ※1 : 新規製造品(2005年7月)後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用し、mmはAと読み替える。

検査間隔延長プログラム

3. 蒸気発生器 (1/1.1)		高浜発電所第4号機検査計画(10年)														備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年		H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年
B2.40	B-8	管板と水受鏡との溶接継手	体積	1基の25%	3	UT	1基の25%	-	C 9%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	第22回全サイクル	C 8%	-	(重大事故等クラス2機器)
B3.60	B-0	冷却材入口管台の内面の丸みの部分、冷却材出口管台の内面の丸みの部分	体積	1基の25%	6	UT	1基の25%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C 入口1	-	(重大事故等クラス2機器)
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手、冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手(呼び径100mm以上)※1	体積及び表面	1基の25%	6	UT PT	1基の25% 1	-	A 入口1 (UT)	B 出口1 (*1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B 入口1 (*2)	-	・H20年、入口管台について600系N1委員会に補修要旨 ・H22年、出口管台について予防保全対策(USP)の応力腐食割れ防止の有効性が確認(回生通知書) (重大事故等クラス2機器)
B7.30	B-0-2	1次側ランホールを取付けボルト	VT-1	1基の25%	96	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	1基の25% 8	-	C 入口3	-	-	-	-	-	C 入口2	-	-	-	-	-	C 入口3	-	(重大事故等クラス2機器)
B15.30	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲100%	-	VT-2	可能範囲100%	-	可能範囲100%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	可能範囲100%	-	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物(支持脚、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1基の25%	12	VT-3	1基の25% 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	C 1	-	(重大事故等クラス2機器)

(\*)1) 代替試験として内面EOTを含むで実施  
 (\*2) 代替試験については第2号回生検で内面EOTを実施予定  
 ※ : 新規検査実施年(2025年7月)後は、維持維持 JSME S MA1-2008を適用する。  
 ※1 : 新規検査実施年(2025年7月)後は、維持維持 JSME S MA1-2008を適用し、mmはAと読み替える。











検査間隔延長プログラム

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画(10年)												備考			
								H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年		H30年	H31年	H32年
86.180	B-4-1	スタッドボルト	体積	1台の25%	7.2	UT (遊差計又は 取外し時)	1台の25% 6	-	第17回	-	第18回	-	第19保安 サイクル	-	-	-	第20保安 サイクル	第21保安 サイクル	第22保安 サイクル	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
86.190	B-4-1	フランジ表面	VT-1	1台の25%	7.2	VT-1	1台の25% 6	-	-	-	-	-	C 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
86.200	B-4-1	ナット	VT-1	1台の25%	7.2	VT-1 (満たし時又は 取外し時)	1台の25% 6	-	-	-	-	-	C 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		ワッシャ	VT-1	1台の25%	7.2	VT-1 (満たし時又は 取外し時)	1台の25% 6	-	-	-	-	-	C 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
B12.20	B-L-2	ケーシングの内表面	VT-3	1	3	VT-3	1	-	-	-	-	-	C 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ポンプ分解点検時に実施 (重大事故等クラス2機器)
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%	-	VT-2	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	可能範囲 100%	-	-	-	-	可能範囲 100%	可能範囲 100%	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
F1.41	F-A	支持構造物 (支保間、ベースプレート、基礎ボルト)	VT-3	1台の25%	9	VT-3	1台の25% 1	-	-	-	-	-	C 1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)

※：新規検査基準施行(2025年7月)後は、維持規格 JSME S NMI-2008 を適用する。

検査間隔延長プログラム

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	備考												
																				第21回全サイクル	第22回全サイクル	-													
B7.70	B-4-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)	VT-1	類似品ごとに1名の25%	24	VT-1 (漏えい時又は取外し時)	類似品ごとに1台分	-	第17回	第18回	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	第21回全サイクル	第22回全サイクル	-												
								4V-RC-055 4V-RC-056 4V-RC-057	4V-RC-057 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2 機器)				
								4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-054A 10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2 機器)			
								4POV-455A 4POV-455B 4POV-455C	4POV-455A 6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2 機器)			
								4POV-454A 4POV-454B	4POV-454A 8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-				
								4V-OS-225	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	4V-OS-225 6	-	-	-			
								4V-OS-233 4V-OS-234	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2 機器)		
								4V-RC-019A 4V-RC-019B 4V-RC-019C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								4V-RC-017	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								4L0V-451 4L0V-452	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								4POV-420 4POV-430	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								4V-RC-003A 4V-RH-003B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								4V-S1-103A 4V-S1-103B 4V-S1-104C 4V-S1-134C 4V-S1-134C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								4V-S1-208A 4V-S1-208B 4V-S1-208C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
								4V-S1-202C 4V-S1-202C	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-		
4V-S1-088	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											
4V-S1-088	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-											

6. 単 (1.1/2.1)

高圧発電所第4号機検査計画 (10年)

発電用原子力設備規格 維持規格(2002年版改訂版) JSME S MA1-2002※

※1: 新規制基準施行(2025年7月)後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用する。  
 ※2: 新規制基準施行(2025年7月)に伴い、RCPB部次により、全数実施する。

検査間隔延長プログラム

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	備考			
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回		第32回		
B12.50	B-M-2	非本体の内表面 加圧器安全弁ライン A. B. コループ 熱除去ポンプライン A. B. コループ 熱除去ポンプライン A. B. コループ SIS蓄圧注入ライン A. B. コループ SIS蒸留機圧注入ライン A. B. コループ SIS低圧機圧注入ライン A. B. コループ SIS高圧機補助注入ライン A. B. コループ	VT-3	類似ごとに1	3	VT-3	類似ごとに1	-	4V-RC-055	-	-	-	-	-	※1 4V-RH-003A 4V-RH-003B	-	-	-	-	4PV-420	-	-	(重大事故等クラス2機器)			
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回			
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
B13.70	B-P	加圧器安全弁ライン A. B. コループ 加圧器選がし弁ライン 加圧器スプロライン A. コループ 加圧器補助スプロライン A. B. コループ 抽出ライン 熱除去ポンプライン A. B. コループ 熱除去ポンプライン A. B. コループ	VT-3	類似ごとに1	-	VT-2	可能範囲 100%	-	4V-RC-055	4V-RC-056	4V-RC-057	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	(重大事故等クラス2機器)
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
F1.41	F-A	加圧器補助スプロライン A. B. コループ 抽出ライン 熱除去ポンプライン A. B. コループ 熱除去ポンプライン A. B. コループ	VT-3	類似ごとに1	4	VT-3	類似ごとに1	-	4V-RC-055	4V-RC-056	4V-RC-057	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	4V-RC-054A 4V-RC-054B 4V-RC-054C	4V-RC-055A 4V-RC-055B 4V-RC-055C	(重大事故等クラス2機器)
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		
								第17回	第18回	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第31回	第32回	備考		

※1: 新規則適用施行(2025年7月)後は、維持規格、JISME S MAI-2008を適用する。  
※2: 新規則適用施行(2025年7月)に伴い、RCPB拡大により、定期実施する。

# クラス2機器供用期間中検査

1. 余熱除去冷却器 (1/1)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10ヵ年) ※										備 考
								H29年 第20回全 サイクル	H30年 第21回全 サイクル	H31年 第22回全 サイクル	H32年 -	H33年 第23回全 サイクル	H34年 第24回全 サイクル	H35年 -	H36年 第25回全 サイクル	H37年 第26回全 サイクル		
C1.10	C-A	管側胴と管側フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%	A 7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
C1.20	C-A	管側鏡と管側胴との溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%	A 7.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
C2.21	C-B	管側入口管台及び管側出口管台と管側胴との溶接継手	体積及び表面	7.5%	4	UT PT	7.5%	A1 (入口)	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	

※：前検査間隔を維持規格2008年版の[A-2310(2)]を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

2. 配管 (1/3)		高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年) ※										備考								
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		検査の範囲 及び程度	検査方法	設備数	検査の範囲 及び程度	検査方法	設備数	検査の範囲 及び程度	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	H37年			
カテゴリ	検査対象箇所								第20保全 サイクル	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル					
03.20	0-C	配管の支持部材取付溶接継手																		
		奈熱除去ポンプ入口ライン (318, 50mm, 355, 60mm) A, Bライン	表面	7.5%	12	PT	7.5% <sub>1</sub>	A1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		奈熱除去ポンプ出口ライン (267, 40mm) A, Bライン	表面	7.5%	3	PT	7.5% <sub>1</sub>	A1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		SIS高温側低圧注入ライン (165, 20mm, 267, 40mm) Aライン	表面	7.5%	3	PT	7.5% <sub>1</sub>		A1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		SIS低温側低圧注入ライン (165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	表面	7.5%	9	PT	7.5% <sub>1</sub>			-	C1	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		SIS高温側補助注入ライン (60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%	15	PT	7.5% <sub>2</sub>	C1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	共通1		
		SIS低温側補助注入ライン (60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン	表面	7.5%	4	PT	7.5% <sub>1</sub>			-		-	-	-	-	-	-	C1		
		補助注入ライン (89, 10mm, 114, 30mm) A, B, 共通ライン	表面	7.5%	5	PT	7.5% <sub>1</sub>			-		-	-	-	-	-	-	1		
		SIS低温側ほう酸注入ライン (60, 50mm, 89, 10mm) A, B, 共通ライン	表面	7.5%	5	PT	7.5% <sub>1</sub>			-		-	-	-	-	-	-	共通1	(重大事故等クラス2機器)	
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン (216, 30mm)	表面	7.5%	3	PT	7.5% <sub>1</sub>			-	1	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (89, 10mm, 114, 30mm)	表面	7.5%	3	PT	7.5% <sub>1</sub>			-		-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)	
		1次冷却材管高温側高圧注入ライン (89, 10mm)	表面	7.5%	2	PT	7.5% <sub>1</sub>			-		-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
		1次冷却材管低温側高圧注入ライン (89, 10mm)	表面	7.5%	2	PT	7.5% <sub>1</sub>			-		-	-	1	-	-	-	-	-	
		1次冷却材管高温側高圧注入ライン ほう酸注入タンク入口側 (89, 10mm)	表面	7.5%	2	PT	7.5% <sub>1</sub>			-		-	-	-	-	-	-	-	1	
1次冷却材管低温側高圧注入ライン ほう酸注入タンク出口側 (89, 10mm)	表面	7.5%	2	PT	7.5% <sub>1</sub>			-		-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		
格納容器再循環ポンプ出口ライン (355, 60mm) A, Bライン	表面	7.5%	8	PT	7.5% <sub>1</sub>			-	A1	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)		

※：前検査間隔を維持規格2008年版の「A-2310(2)」を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

2. 配管 (2/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	H129年 第20回保全サイクル	H30年 第21回保全サイクル	H31年 第22回保全サイクル	H32年	H33年 第23回保全サイクル		H34年 第24回保全サイクル	H35年	H36年 第25回保全サイクル	H37年 第26回保全サイクル		
05.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径100Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの) 余熱除去ポンプ入ロライン (12B, 14B, 318, 50mm) A, Bライン SIS高温側低圧注入ライン (6B, 10B, 267, 40mm) A, Bライン SIS低温側低圧注入ライン (6B, 10B, 165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン 格納容器再循環サブ出口ロライン (14B, 355, 60mm) A, Bライン	体積又は表面	7.5%	6.9	P.T	7.5% <sub>6</sub>	B1	A2	-	B1	-	-	A1 B1	-	(重大事故等クラス2機器)		
			体積及び表面	7.5%	1.9	U.T P.T	7.5% <sub>2</sub>	A1	-	-	-	-	-	-	A1	-		
			体積及び表面	7.5%	5.7	U.T P.T	7.5% <sub>5</sub>	A1 B1	-	-	-	-	B1	-	-	C2	-	(重大事故等クラス2機器)
			体積又は表面	7.5%	2.3	P.T	7.5% <sub>2</sub>	A1	-	-	-	-	-	-	-	B1	-	(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	10.8	P.T	7.5% <sub>9</sub>	A1 B2	-	C2	-	-	共通1	-	-	C1 共通2	-	
			表面	7.5%	5.2	P.T	7.5% <sub>4</sub>	A1	-	B1	-	-	-	-	-	C1 共通1	-	
05.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径50A以上100A以下で公称肉厚5mmを超えるもの) SIS高温側補助注入ライン (2B, 3B, 60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン SIS低温側補助注入ライン (2B, 3B, 60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン 補助注入ライン (3B, 4B, 89, 10mm)	表面	7.5%	3.3	P.T	7.5% <sub>3</sub>	1	-	-	1	-	-	1	-			
			表面	7.5%	5.5	P.T	7.5% <sub>5</sub>	A1	B1	-	-	C1	-	-	共通2	-	(重大事故等クラス2機器)	
			表面	7.5%	3.5	P.T	7.5% <sub>3</sub>	1	1	-	-	-	-	-	1	-	(重大事故等クラス2機器)	
05.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (ソケット溶接継手) SIS高温側補助注入ライン (2B) A, B, Cライン SIS低温側補助注入ライン (2B) A, B, Cライン SIS低温側ほう酸注入ライン (2B) A, B, Cライン	表面	7.5%	1.8	P.T	7.5% <sub>2</sub>	A1	-	-	-	-	-	B1	-			
			表面	7.5%	9	P.T	7.5% <sub>1</sub>	-	-	-	-	A1	-	-	-	-		
			表面	7.5%	9	P.T	7.5% <sub>1</sub>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)
			表面	7.5%	9	P.T	7.5% <sub>1</sub>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	(重大事故等クラス2機器)

※：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

2. 配管 (3/3)

項目 番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10カ年) ※										備 考			
								H29年 第20保安 サイクル	H30年 第21保安 サイクル	H31年 第22保安 サイクル	H32年	H33年 第23保安 サイクル	H34年 第24保安 サイクル	H35年	H36年 第25保安 サイクル	H37年 第26保安 サイクル					
F1.21	F-A	支持構造物																			
		余熱除去ポンプ入ロライン A、Bライン	VT-3	7.5% 4	49	VT-3	7.5% 4								A1 B1					(重大事故等クラス2機器)	
		余熱除去ポンプ出ロライン A、Bライン	VT-3	7.5% 6	80	VT-3	7.5% 6								A1 B1					(重大事故等クラス2機器)	
		SIS高温側低圧注入ライン Aライン	VT-3	7.5% 1	12	VT-3	7.5% 1														
		SIS低温側低圧注入ライン A、B、Cライン	VT-3	7.5% 5	55	VT-3	7.5% 5								A1 B1					(重大事故等クラス2機器)	
		補助注入ライン	VT-3	7.5% 2	24	VT-3	7.5% 2								1						
		充てん/高圧注入ポンプ出ロライン	VT-3	7.5% 3	27	VT-3	7.5% 3									C1					(重大事故等クラス2機器)
		充てん/高圧注入ポンプ入ロライン	VT-3	7.5% 2	23	VT-3	7.5% 2														
		格納容器再循環ポンプ出ロライン A、Bライン	VT-3	7.5% 2	14	VT-3	7.5% 2														(重大事故等クラス2機器)

※：前検査間隔を維持規格2008年版の[A-2310(2)]を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

3. 余熱除去ポンプ (1/1)

		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※										備考						
		JSM E S MA1-2008																
		発電用原子力設備規格(2008年版)	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	H37年	
項目 番号	カテゴリ								第20保全 サイクル	第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル	第26保全 サイクル			
06.10	C-G		ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5% 1	4	P T	1台の7.5% 1										
F1.43	F-A		ポンプの台板脚	V T-3	1台の7.5% 1	4	V T-3	1台の7.5% 1	A 1									(重大事故等クラス2機器)
												A 1						(重大事故等クラス2機器)

※：前検査間隔を維持規格2008年版の1A-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。



4. 弁 (1/1)

項目 番号	カテゴリ	高 浜 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10カ年) ※										備 考					
		検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲 及び程度	H29年	H30年	H31年	H32年		H33年	H34年	H35年	H36年	H37年
F1.43	F-A	支持構造物															
		余熱除去ポンプ入口ライン A. Bライン	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%		4V-RH-041A 1								
		余熱除去ポンプ出口ライン A. Bライン	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%			4V-RH-024A 1							
		余熱除去ポンプ出口ライン A. Bライン	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%				4PCV-611 1						
		余熱除去ポンプ出口ライン A. Bライン	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%							4HCV-603 1			
		余熱除去ポンプ出口ライン A. Bライン	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%								4FCV-614 1		
		SIS 低溫側低圧注入ライン A. Cライン	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%	2	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%										
		SIS 高温側補助注入ライン 4V-SI-082 4V-SI-101 4V-SI-301 4V-SI-303	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%	8	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%										
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン 4V-SI-023A 4V-SI-023B	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%	4	VT-3	類似弁ごとに 1台の7.5%									4V-SI-023A 1	

※：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査 (1/7)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※										備考 (漏えい区分)				
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H29年 第20保安 サイクル	H30年 第21保安 サイクル	H31年 第22保安 サイクル	H32年 -	H33年 第23保安 サイクル		H34年 第24保安 サイクル	H35年 -	H36年 第25保安 サイクル	H37年 第26保安 サイクル
		化学体積制御系統														
C7.10 C7.30 C7.70	O-H	体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	0.11	0.11	VT-2				-			-	O		※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-1)
C7.30 C7.50 C7.70	O-H	B-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2			O	-			-			(3-3)
C7.10 C7.30 C7.70	O-H	抽出ライン(1)	VT-2	15.41	15.41	VT-2			O	-			-			(3-5)
C7.10 C7.30 C7.70	O-H	抽出ライン(2)	VT-2	2.16	2.16	VT-2			O	-			-			(3-6)
C7.10 C7.30 C7.70	O-H	体積制御タンク入ロライン	VT-2	0.19	0.19	VT-2		O		-			-			(3-8)
C7.30 C7.50 C7.70	O-H	ほう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2		O		-			-			(3-9)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	O-H	ほう酸ポンプ出口ロライン	VT-2	0.71	0.71	VT-2				-			-	O		(3-10)

※：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査 (2/7)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※										備考 (漏えい区分)			
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H29年 第20回 サイクル	H30年 第21回 サイクル	H31年 第22回 サイクル	H32年 第23回 サイクル	H33年 第24回 サイクル		H34年 第25回 サイクル	H35年 第26回 サイクル	H36年 第27回 サイクル
		余熱除去系統													
G7.30 G7.50 G7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2									
		B-余熱除去ポンプ入ロライン	VT-2	2.75	2.75	VT-2				○					
G7.10 G7.30 G7.50 G7.70	C-H	B-余熱除去ポンプ出ロライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2			○						
		燃料取替用水系統													
G7.30 G7.70	C-H	燃料取替用水タンク出ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2			○						
		燃料取替用水タンク原子炉キヤビティ連絡ライン(PEN#222)	VT-2	0.14	0.14	VT-2		○							
		安全注入系統													
G7.10 G7.30 G7.70	C-H	蓄圧タンク及び出入ロライン	VT-2	4.22	4.22	VT-2			○						
		ほう酸注入タンク及び出入ロライン	VT-2	8.00	8.00	VT-2			○						
		蓄圧タンク注入ライン(PEN#216)	VT-2	4.40	4.40	VT-2									○
G7.30 G7.70	C-H	蓄圧タンクアストライン(PEN#227)	VT-2	6.90	6.90	VT-2									○
		赤てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)	VT-2	8.00	8.00	VT-2			○						

※：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

5. クラスタ機器漏えい検査(3/7)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※										備考 (漏えい区分)			
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H29年 第20保安 サイクル	H30年 第21保安 サイクル	H31年 第22保安 サイクル	H32年	H33年 第23保安 サイクル		H34年 第24保安 サイクル	H35年	H36年 第25保安 サイクル
		安全注入系統													
C7.30 C7.70	C-H	赤てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(4)	VT-2	8.00	8.00	VT-2			○	-			-		(3-21)
		格納容器再循環サブ出ロライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2				-			-	○	(3-22)
		格納容器スプレイ系統													
C7.10 C7.30 C7.70	O-H	よう素除去薬品タンク及び出入ロライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2			○	-			-		※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-23)
C7.30 C7.70	C-H	よう素除去薬品タンク出ロライン	VT-2	34.4kPa	34.4kPa	VT-2				-	○		-		(3-88)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2				-			-	○	(3-24)
		B-格納容器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	0.36	0.36	VT-2				-			-	○	(3-25)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2				-			-	○	(3-26)
		B-格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	1.97	1.97	VT-2				-			-	○	(3-27)
C7.30 C7.70	C-H	格納容器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	1.64	1.64	VT-2			○	-			-		(3-28)
		格納容器再循環サブ出ロライン(格納容器スプレイポンプ側)	VT-2	4.91kPa	4.91kPa	VT-2				-	○		-		(3-29)

※：前検査間隔を維持規格2008年版の1A-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

5. クラスタ機器漏えい検査(4/7)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※										備考 (漏えい区分)			
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H29年 第20保安 サイクル	H30年 第21保安 サイクル	H31年 第22保安 サイクル	H32年	H33年 第23保安 サイクル		H34年 第24保安 サイクル	H35年	H36年 第25保安 サイクル
		主給水系統													
C7.10 C7.30 C7.70	O-H	A-蒸気発生器給水入口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2			○	-			-		(3-30)
		主蒸気系統													
C7.30 C7.70	O-H	A-蒸気発生器出口ライン	VT-2	5.30	5.30	VT-2			○	-			-		(3-33)
		1次系補給水系統													
C7.30 C7.70	O-H	加圧器速がしタンクPMW供給ライン(PEN#279)	VT-2	0.80	0.80	VT-2				-	○		-		(3-38)
		1次系補給水ライン(PEN#268)	VT-2	0.60	0.60	VT-2		○		-			-		(3-56)
		廃棄物処理系統													
		蓄圧タンク窒素充てんライン(PEN#218)	VT-2	4.40	4.40	VT-2				-	○		-		※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-42)
C7.30 C7.70	O-H	格納容器冷却材ドレンポンプ出口ライン(PEN#225)	VT-2	0.70	0.70	VT-2				-	○		-		(3-86)
		格納容器サンポンプ出口ライン(PEN#234)	VT-2	0.15	0.15	VT-2		○		-			-		(3-87)

※：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査(5/7)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※										備考 (漏えい区分)					
項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H29年 第20保安 サイクル	H30年 第21保安 サイクル	H31年 第22保安 サイクル	H32年 第23保安 サイクル	H33年 第24保安 サイクル		H34年 第25保安 サイクル	H35年 第26保安 サイクル	H36年 第27保安 サイクル	H37年 第28保安 サイクル	
		蒸気発生器ブローダウン系統															
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#319)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		○	-	-	-	-	-	-		(3-45-1)	
		B-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#318)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		○	-	-	-	-	-	-	-		(3-45-2)
		C-蒸気発生器ブローダウンライン(PEN#317)	VT-2	4.80	4.80	VT-2		○	-	-	-	-	-	-	-		(3-45-3)
		試料採取系統															
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器ブローダウンサンプリングライン(PEN#259L)	VT-2	4.80	4.80	VT-2			-	-	-	-	-	-	○		(3-46-1)
		B-蒸気発生器ブローダウンサンプリングライン(PEN#259M)	VT-2	4.80	4.80	VT-2			-	-	-	-	-	-	○		(3-46-2)
		C-蒸気発生器ブローダウンサンプリングライン(PEN#259R)	VT-2	4.80	4.80	VT-2			-	-	-	-	-	-	○		(3-46-3)
		加圧器気相部サンプリングライン(PEN#231R)	VT-2	15.41	15.41	VT-2			-	-	-	-	-	○		(3-67)	
		加圧器液相部・Bループ高温側サンプリングライン(PEN#231M)	VT-2	15.41	15.41	VT-2			-	-	-	-	-	○		(3-68)	
		Aループ高温側サンプリングライン(PEN#235)	VT-2	15.41	15.41	VT-2			-	-	-	-	-	○		(3-69)	
		蓄圧タンクサンプリングライン(PEN#231L)	VT-2	4.40	4.40	VT-2			-	-	-	-	-	○		(3-70)	

※：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。

5. クラスタ機器漏えい検査(6.7.7)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)※										備考 (漏えい区分)					
							H29年 第20回 サイクル	H30年 第21回 サイクル	H31年 第22回 サイクル	H32年	H33年 第23回 サイクル	H34年 第24回 サイクル	H35年	H36年 第25回 サイクル	H37年 第26回 サイクル							
		原子炉補機冷却水系統																				
		CRDM冷却ユニット他冷却水入ロライン(PEN#313)	VT-2	0.60	0.60	VT-2																(3-63)
		CRDM冷却ユニット他冷却水出ロライン(PEN#314)	VT-2	0.07	0.07	VT-2																(3-64)
		RCP冷却水入ロライン(PEN#312)	VT-2	0.50	0.50	VT-2		○														(3-65)
		RCP冷却水出ロライン(PEN#311)	VT-2	0.07	0.07	VT-2		○														(3-66)
		A・B-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン(PEN#255)	VT-2	0.60	0.60	VT-2						○										(3-57)
		A-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#256)	VT-2	0.50	0.50	VT-2						○										(3-59)
		B-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#257)	VT-2	0.50	0.50	VT-2		○														(3-60)
		C-D-C/V再循環ユニット冷却水入ロライン(PEN#229)	VT-2	0.60	0.60	VT-2		○														(3-58)
		C-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#230)	VT-2	0.50	0.50	VT-2		○														(3-61)
		D-C/V再循環ユニット冷却水出ロライン(PEN#232)	VT-2	0.50	0.50	VT-2																(3-62)
		DRP1室冷却ユニット冷却水入ロライン(PEN#274)	VT-2	0.25	0.25	VT-2																(3-93)
		DRP1室冷却ユニット冷却水出ロライン(PEN#275)	VT-2	0.25	0.25	VT-2		○														(3-94)

※：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11カ年としたため、本検査間隔は9カ年としている。

5. クラス2機器漏えい検査(7/7)

項目番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)※										備考 (漏えい区分)	
							H29年 第20保安 サイクル	H30年 第21保安 サイクル	H31年 第22保安 サイクル	H32年 -	H33年 第23保安 サイクル	H34年 第24保安 サイクル	H35年 -	H36年 第25保安 サイクル	H37年 第26保安 サイクル			
		空気系統																
C7.30 C7.70	C-H	制御用空気ライン(PEN#260)	VT-2	0.66	0.66	VT-2												※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-79)
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)(PEN#262)	VT-2	0.66	0.66	VT-2												※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-80)
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)(PEN#284)	VT-2	0.68	0.68	VT-2			○									※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-81)
		所内用空気供給ライン(PEN#265)	VT-2	0.71	0.71	VT-2			○									※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-82)
		消火水系統																
C7.30 C7.70	C-H	消火水ライン(PEN#271)	VT-2	1.30	1.30	VT-2		○										(3-83)
		炭酸ガス系統																
C7.30 C7.70	C-H	CO2消火ライン(PEN#316)	VT-2	4.40	4.40	VT-2												※1 一部又は全部を気圧により検査 (3-91)

※：前検査間隔を維持規格2008年版のIA-2310(2)を適用し11ヵ年としたため、本検査間隔は9ヵ年としている。



検査間隔延長プログラム

1. 配管 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格 (2002年改訂版) JSME S MA1-2002 ※		高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)												備考										
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年		H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	
F1.21	F-A	支持構造物																						
		SIS高温制御助注入ライン A. B. C. 共通ライン	VT-3	7.5%	107	VT-3	7.5% <sub>9</sub>			A1	B1	-	C2	共通1							C3 共通1			
		SIS低温制御助注入ライン A. B. C. 共通ライン	VT-3	7.5%	49	VT-3	7.5% <sub>4</sub>			A1	-	-	C1			共通1					共通1			
		SIS低温制御ほろ酸注入ライン A. B. C. 共通ライン	VT-3	7.5%	47	VT-3	7.5% <sub>4</sub>			A1	-	C1			共通1					共通1				(重大事故等クラス2機器)

※ : 新規制基準施行 (H25年7月) 後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用する。

検査間隔延長プログラム

2. 井 (1/1)		高浜発電所 第4号機 検査計画 (10ヵ年)												備考											
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年		H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年		
F1.43	F-A	支持構造物 SIS高温側低圧注入ライン 4V-SI-206 SIS低温側補助注入ライン 4V-SI-094 4V-SI-302 SIS低温側ほう酸注入ライン 4V-SI-042A 4V-SI-042B	VT-3	類似井ごとに1台の7.5%	1	VT-3	類似井ごとに1台の7.5%	-	第17回	第18回	-	第19回 サイクル									第21回 サイクル				
			VT-3	類似井ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似井ごとに1台の7.5%																		
			VT-3	類似井ごとに1台の7.5%	4	VT-3	類似井ごとに1台の7.5%								4V-SI-094 1								4V-SI-206 1		

※ : 新規製造実施行 (H25年7月) 後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用する。

検査間隔延長プログラム

3. クラス2機器漏えい検査 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2002年改訂版) JSME S MA1-2002 ※		高浜発電所 第4号機 検査計画(10ヵ年)												備考 (漏えい区分)								
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年		H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年
		化学体積制御系統							第17回										第21保安 サイクル			
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2	-					O										
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-2	17.76	17.76	VT-2	-													O		
C7.30 C7.70	C-H	抽出ライン(3) 封水戻りライン(PEN#2.17)	VT-2	0.40	0.40	VT-2	-					O										
		糸鋸除去系統																				
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-糸鋸除去ポンプ出口ライン	VT-2	3.56	3.56	VT-2	-					O										
C7.30 C7.70	C-H	安全注入系統 充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(1)	VT-2	8.00	8.00	VT-2	-													O		

※ : 新規制基準施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用する。

検査間隔延長プログラム

3. クラス2機器漏えい検査(2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2002年改訂版) JSME S MA1-2002 ※		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)												備考 (漏えい区分)								
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	
							-	第17回	第18回	-	第19保全 サイクル				第20保全 サイクル				第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	-	
		安全注入系統																				
C7.30 C7.70	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(3)	VT-2	8.00	8.00	VT-2	-				○										-	(3-20)
		主給水系統																				
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	B-蒸気発生器給水入ロライン C-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2 VT-2	5.30 5.30	5.30 5.30	VT-2 VT-2	- -				○										- -	(3-31) (3-32)
		主蒸気系統																				
C7.30 C7.70	C-H	B-蒸気発生器出口ロライン C-蒸気発生器出口ロライン	VT-2 VT-2	5.30 5.30	5.30 5.30	VT-2 VT-2	- -				○										- -	(3-34) (3-35)

※ : 新規格基準施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S MA1-2008を適用する。

# クラス3 機器供用期間中検査

## 検査10年計画

### 1. 余熱除去冷却器(胴側) (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)										備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年		H31年	H32年	H33年	H34年
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	1基の7.5% I	4	VT-3					第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	-	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	-
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5% I	4	VT-3		A1			A1		-			-

### 2. 格納容器スプレイ冷却器(胴側) (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)										備考				
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年		H31年	H32年	H33年	H34年
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	1基の7.5% I	4	VT-3					第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	-	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	-
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5% I	4	VT-3					A1		-			-

3.原子炉補機冷却水冷却器 (1/1)

発電用原子力設備規格 (維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008)		高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年
D1.10	D-A	胴と当板との溶接継手	VT-3	1基の7.5%	8	VT-3	1基の7.5% I		第20保全 サイクル			第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	-	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	-
F1.44	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	8	VT-3	1基の7.5% I					A1		-			-

4.非常用ディーゼル発電機清水冷却器 (1/1)

発電用原子力設備規格 (維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008)		高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考					
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年
D1.10	D-A	胴と補強板との溶接継手	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% I					第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	-	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	-
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5% I						A1	-			-

5. 非常用ディーゼル発電機潤滑油冷却器 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考									
							H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年										
D1.10	D-A	胴と補強板との溶接継手	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3 1基の7.5%																				
F1.44	F-A	取付脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3 1基の7.5%																				

6. 配管 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法及び程度	高浜発電所第4号機検査計画 (10カ年)										備考									
							H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年										
		配管の支持部材取付け溶接継手																								
D1.20	D-A	原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	76	VT-3 7.5% 6	1	1					1	1												
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	30	VT-3 7.5% 3		1																		
		支持構造物																								
F1.31	F-A	原子炉補機冷却水系統	VT-3	7.5%	430	VT-3 7.5% 33	5	5						4												
		原子炉補機冷却海水系統	VT-3	7.5%	251	VT-3 7.5% 19	3	2						2												

7.原子炉補機冷却水ポンプ (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	JSME S NA1 - 2008		高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)										備考			
			検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年		H33年	H34年	H35年
F1.31	F-A	ポンプ台板脚	VT-3	1台の7.5%	20	VT-3	1台の7.5% I											

8.弁 (1/1)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	JSME S NA1 - 2008		高浜発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)										備考			
			検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年		H33年	H34年	H35年
F1.31	F-A	支持構造物																
		原子炉補機冷却水系統																
		4TCV-2342A	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5% I					4TCV-2342A 1						
		4TCV-2342B																
		4TCV-2342C 4TCV-2342D																
		原子炉補機冷却水系統	VT-3	1台の7.5%	4	VT-3	1台の7.5% I											4V-CC-043 I



9. クラス3機器漏えい検査 (1/2)

項目番号	カテゴリ	発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME SNA1-2008	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)							
								H28年	H27年	H26年	H25年	H24年	H23年	H22年	H21年	H20年	H19年		H18年	H17年					
			使用済燃料ピット冷却炉化 ・燃料検査ピット水移送系統																						
D2.30	D-B		使用済燃料ピットポンプ入口ライン	VT-2	0.10	0.10	VT-2	○																	(4-1)
D2.10 D2.30	D-B		A-使用済燃料ピットポンプ出口ライン	VT-2	0.59	0.59	VT-2	○																	(4-2)
			B-使用済燃料ピットポンプ出口ライン	VT-2	0.59	0.59	VT-2	○																	(4-3)
			原子炉補機冷却水系統																						
			A, B, C-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.31	0.31	VT-2	○																	(4-4)
			D, E-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.31	0.31	VT-2							○											(4-5)
D2.10 D2.30	D-B		原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン	VT-2	0.80	0.80	VT-2							○											(4-6)
			原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2	0.80	0.80	VT-2								○										(4-7)
			原子炉補機冷却海水系統																						
			A-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2								○										(4-8)
D2.10 D2.30	D-B		B-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2																		(4-9)
			C-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.18	0.18	VT-2																		(4-10)

9. クラス3機器漏えい検査 (2/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S NA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)							
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査 方法	運転圧力又は 最高使用圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査 方法	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年			
							第20回保全 サイクル												
		制御用空気系統																	
D2.10 D2.30	D-B	A-格納容器内間御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-	○			-	(4-11)	
		B-格納容器内間御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-		○			-	(4-12)
		A-格納容器外間御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-	○				-	(4-13)
		B-格納容器外間御用空気供給ライン	VT-2	0.66	0.66	VT-2							-		○			-	(4-14)
		ディーゼル発電機始動用空気系統																	
D2.10 D2.30	D-B	A-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	2.65	2.65	VT-2							-	○				-	(4-15)
		B-ディーゼル発電機始動用空気ライン	VT-2	2.65	2.65	VT-2							-		○			-	(4-16)







# 原子炉格納容器供用期間中検査

## 検査間隔延長プログラム

### 1. 原子炉格納容器(1/1)

項目番号	力子コリ	検査対象箇所	JSME S NA1-2002※		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)												備考							
			検査方法	検査の範囲及び程度	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年		H28年	H29年	H30年				
E8.10	E-G	機器搬入口用ボルト締め付け部	VT-4	25%	18	第15回	第16回	-	第17回	第18回	-	第19回	第20回	第21回	第22回	第23回	第24回	第25回	第26回	第27回	第28回	第29回	第30回	第21回検査サイクル

※:新規制基準施行(H25年7月)後は、維持規格 JSME S NA1-2008を適用する。

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器 (1/2)

発電用原子炉設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MAI-2008		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B1.102	B-A	下部胴の長手溶接継手	体積 可能範囲 各100%	
B2.111	B-B	上部胴と下部胴との周溶接継手	体積 5%	
		下部胴とトランジションリングとの周溶接継手	体積 5%	
B3.105	B-C	トランジションリングと下部胴との周溶接継手	体積 5%	
		上部胴と上部胴フランジとの溶接継手	体積 可能範囲 各100%	
B3.10	B-D	冷却材入口管台と胴との溶接継手	体積 可能範囲 各100%	
		冷却材出口管台と胴との溶接継手	体積 可能範囲 各100%	
B3.20	B-D	冷却材入口管台内面の丸みの部分	体積 可能範囲 各100%	
		冷却材出口管台内面の丸みの部分	体積 可能範囲 各100%	
B5.10	B-F	冷却材入口管台とセーフエントの溶接継手(呼び径100%以上)	体積及び表面 可能範囲 各100%	H23年、600系N基金に補修実施
		冷却材出口管台とセーフエントの溶接継手(呼び径100%以上)	体積及び表面 可能範囲 各100%	H23年、600系N基金に補修実施
B6.10	B-G-1	ナット	VT-1 100%	
B6.30	B-G-1	スタッドボルト	体積 100%	
B6.40	B-G-1	胴フランジネジのネジ部	体積 100%	
B6.50	B-G-1	ワッシャー	VT-1 100%	
B7.10	B-G-2	マーカンカップリング	VT-1 25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

1. 原子炉容器 (2/2)

発電用原子炉設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MAI-2008		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
G1.10	G-P-1	容器内部	VT-3 各範囲の7.5% 各検査時年度	
		上部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3 各範囲の7.5%	
G1.40	G-P-1	下部炉心支持構造物の内部取付物	VT-3 各範囲の7.5%	
		炉心内部取付物	VT-3 各範囲の7.5%	
G1.50	G-P-2	上部炉心支持構造物	VT-3 各範囲の7.5%	
		下部炉心支持構造物	VT-3 各範囲の7.5%	
B14.10	B-0	制御棒駆動ハウジングの溶接継手(上部)	体積又は表面	
		制御棒駆動ハウジングの溶接継手(T部)		
B15.10	B-P	圧力保持範囲	VT-2 可能範囲100%	
F1.41	F-A	支持構造物(サポータフラケット、サポータシユーム、遠征バルブ)	VT-3 25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理



重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

2. 加圧器 (1/1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MAI-2008		高浜発電所 第4号機 検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び検査の範囲	
B2.11	B-B	上部脚と上部継ぎ手の溶接手 下部脚と下部継ぎ手の溶接手	体積 5%	
B2.12	B-B	上部脚の長手継手 下部脚の長手継手	体積 各10%	
B2.13	B-B	上部脚と下部脚との溶接手	体積 5%	
B3.30	B-D	管台と容器との溶接継手	体積 25%	
B3.40	B-D	管台内面の丸みの部分	体積 25%	
B5.40	B-F	管台とターミナルヘッドの溶接継手 (平均径100mm以上)		クラス1機器供用期間中検査で管理
		加圧器逃かし弁管台		
		加圧器安全弁管台	体積及び表面 25%	
		加圧器スプレー管台		
		加圧器サージ管台		
B7.20	B-G-2	マンホールの取付けボルト	VT-1 25%	
B8.20	B-H	支持脚材の管端への取付け溶接継手 (スカーポート溶接継手)	表面 7.5%	
B15.20	B-P	圧力保持範囲	VT-2 可能範囲 100%	
F1.41	F-A	支持構造物(スカーポート、基礎ボルト)	VT-3 25%	
				H22年、600系M組合室に補修実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

3. 蒸気発生器 (1/1.1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MAI-2008		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B2.40	B-B	管板と水室胴との溶接継手	1基の25%	
B3.60	B-D	冷却材入口管台の内面の丸みの部分 冷却材出口管台の内面の丸みの部分	1基の25%	
B5.70	B-F	冷却材入口管台とセーフエンドの溶接継手、 冷却材出口管台とセーフエンドの溶接継手、 (呼び径100以上)	1基の25%	
B7.30	B-G-2	1次側マンホールの取付けボルト	1基の25%	
B15.30	B-P	圧力保持範囲	可能範囲100%	
F1.41	F-A	支持構造物 (支脚脚、ベースプレート、基礎ボルト)	1基の25%	

クラス1機器供用期間中検査で管理

・H20年、人口管台について690系H管台に補修実施  
 中22年、人口管台について予  
 知停止の有効性が実施(個管週  
 知書)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配管 (1/4)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲 及び精度	備考	
発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MAI-2008 高浜発電所第4号機検査計画						
B9.11	B-J	配管の同種金属溶接継手 (呼び径100以上)				
		1次冷却材管 (27.5INID, 83& 00mm, 28INID, 31INID) A, B, Cグループ	体積	25%		
		加圧器サージ管 (148, 355, 60mm)	体積	25%		
		加圧器安全弁ライン (8B) A, B, Cライン	体積	25%		
		加圧器蒸がし弁ライン (8B)	体積	25%		
		蒸気発生ポンプ吸入ライン (12B) B, Cグループ	体積	25%		
		SIS配管注入ライン (12B, 31& 50mm) A, B, Cグループ	体積	25%		
		SIS配管配管注入ライン (8B) A, B, Cグループ	体積	25%		
		配管の同種金属溶接継手 (呼び径100未満)				
		加圧器蒸がし弁ライン (8B)	表面	25%		
クラス1機器供用期間中検査で管理						

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配置(2/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MAI-2008		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び頻度
B9.21	B-J	配管の同種名置換溶接継手 (呼び径100未満)		
		CVC9充てんライン (3B, 8B, 10mm) Bグループ	表面	25%
B9.31	B-J	SIS低濃制圧器注入ライン (2B, 60, 50mm) A, B, Cグループ	表面	25%
		母管と管台との溶接継手 (呼び径100以上)	体積	25%
B9.32	B-J	1次冷却材管 (4B, 6B, 12B, 14B) A, B, Cグループ	表面	25%
		母管と管台との溶接継手 (呼び径100未満)	表面	25%
		SIS低濃制圧器注入ライン (2B) A, B, Cグループ	表面	25%

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

4. 配置 (3/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MAI-2008		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B9.40	B-J	ソケット溶接継手 S I S配管(2B) A, B, Cグループ	表面 2.5%	
B10.20	B-K	配管の支持部取付け溶接継手 余熱除去ポンプ入口ロライン B, Cグループ	表面 7.5%	
B15.50	B-P	圧力保持範囲 支持構造物	V T-2 可能範囲 100%	
F1.10	F-A	加圧器サージ管	V T-3 2.5%	
		加圧器減かし弁ロライン	V T-3 2.5%	
		余熱除去ポンプ入口ロライン B, Cグループ	V T-3 2.5%	
クラス1機器供用期間中検査で管理				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画 (クラス1機器供用期間中検査範囲)  
4. 配置 (4/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MAI-2008		高浜発電所 第4号機 検査計画		備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び検査の範囲		
F1.10	F-A	支持構造物		クラス1機器供用期間中検査と管理	
		C.V.C.S. 蒸てんライン B. ループ	VT-3		25%
		S.I.S. 蒸気注入ライン A. B. C. ループ	VT-3		25%
		S.I.S. 低濃縮低圧注入ライン A. B. C. ループ	VT-3		25%
		S.I.S. 低濃縮ほう酸注入ライン A. B. C. ループ	VT-3		25%

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)  
 5.1 次発部ポンプ(1/1.1)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JUNE S MAI-2008		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び程度	
B6.180	B-4-1	スタッドボルト	種類	
B6.190	B-4-1	フランジ表面	VT-1	
B6.200	B-4-1	ナット	VT-1	
		ワッシャー	VT-1	
B12.20	B-4-2	ケーシングの内表面	VT-3	
B15.60	B-P	圧力保持範囲	VT-2	
F1.41	F-A	支持構造物 (支持脚、ベースプレート、基礎ガルト)	VT-3	
			検査の範囲及び程度	
			1台の25%	
			1台の25%	
			1台の25%	
			1台の25%	
			1	
			可能範囲 100%	
			1台の25%	
クラス1機器供用期間中検査で管理				
				ポンプ分解点検時に実施
				ポンプ分解点検時に実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

6. 号 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年改訂版) JSME S MAI-2008		高浜発電所第4号機検査計画		備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	
B7.70	B-4-2	圧力保持用ボルト締付け部 (直径50mm以下)			
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	4W-RC-055 4W-RC-056 4W-RC-057	VT-1	類似品ごとに 1台の25%
		加圧器遮断弁ライン	4W-RC-054A 4W-RC-054B 4W-RC-054C	VT-1	類似品ごとに 1台の25%
			4PCV-455A 4PCV-455B 4PCV-454C	VT-1	類似品ごとに 1台の25%
		CVC5冷却ライン Bループ	4W-CS-233 4W-CS-234	VT-1	類似品ごとに 1台の25%
		系統去污ポンプ吸入ライン B, Cループ	4PCV-420 4PCV-430	VT-1	類似品ごとに 1台の25%
		系統去污ポンプ吸入ライン B, Cループ	4W-RH-002A 4W-RH-002B	VT-1	類似品ごとに 1台の25%
		SIS蓄圧注入ライン A, B, Cループ	4W-S-134A, 136A 4W-S-134B, 136B 4W-S-134C, 136C	VT-1	類似品ごとに 1台の25%
		SIS低圧側低圧注入ライン A, B, Cループ	4W-SI-202A, 203A 4W-SI-202B, 203B 4W-SI-202C, 203C	VT-1	類似品ごとに 1台の25%
		クラス1機器供用期間中検査で管理			



重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器供用期間中検査範囲)

6. 井(2/2)

発電用原子力設備部 維持稼働(2008年改訂版) JSME S MAI-2008		高浜発電所 第4号機 検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
B12.50	B-W-2	井本体の内表面		
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	VT-3	頻検井ごとに1
		4N-R0-055 4N-R0-056 4N-R0-057		
		余熱除去ポンプ吸入ロライン B, Cグループ	VT-3	頻検井ごとに1
		4F0V-420 4F0V-430		
		余熱除去ポンプ吸入ロライン B, Cグループ	VT-3	頻検井ごとに1
		4N-RH-003A 4N-RH-003B		
		SIS駆圧注入ライン A, B, Cグループ	VT-3	頻検井ごとに1
		4N-SI-134A, 136A 4N-SI-134B, 136B 4N-SI-134C, 136C		
		SIS低圧側駆圧注入ライン A, B, Cグループ	VT-3	頻検井ごとに1
4N-SI-202A, 203A 4N-SI-202B, 203B 4N-SI-202C, 203C				
B15.70	B-P	圧力保持範囲	VT-2	可能範囲 100%
F141	F-A	支持構造物		
		加圧器安全弁ライン A, B, Cライン	VT-3	頻検井ごとに1台の25%
		4N-R0-055 4N-R0-056 4N-R0-057		
		加圧器過がし弁ライン	VT-3	頻検井ごとに1台の25%
		4N-R0-054A 4N-R0-054B 4N-R0-054C		
		4F0V-455A 4F0V-455B 4F0V-454C	VT-3	頻検井ごとに1台の25%
		余熱除去ポンプ吸入ロライン B, Cグループ	VT-3	頻検井ごとに1台の25%
		4F0V-420 4F0V-430		
		余熱除去ポンプ吸入ロライン B, Cグループ	VT-3	頻検井ごとに1台の25%
		4N-RH-003A 4N-RH-003B		

クラス1機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス1機器Ni基金使用部位特別検査範囲)

原子炉容器

NRA文書※1		高圧発電所第4号機検査計画		備考
カテゴリー	検査対象箇所	検査方法及び程度	検査の範囲及び程度	
—	600系Ni基金製の上蓋及び底部表面(600系Ni基金製の各原子炉容器上蓋及び底部管台まわり360°を含む。) [底部表面(計測用管台)]	BMV	100%/5年	クラス1機器Ni基金使用部位特別検査で管理

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破損を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画(クラス2管(原子炉格納容器内)特別検査範囲)

NRA文書※1				高圧発電所第4号機械検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度		
—	—	配管の耐圧部分の溶接継手 充てんライン (3B) 再生熱交換器連絡管 (3B) 充てんライン連絡管	体積	25%	クラス2管 (原子炉格納容器内) 特別検査で管理	
			体積	25%		

※1：「実用発電用原子炉及びその附属施設における破断を引き起こす亀裂その他の欠陥の解釈」(原規技発第1408063号(平成26年8月6日原子力規制委員会決定))

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1. 格納容器スプレッドシート管理 (1/1)

発電用原子力設備規格 (2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所 第4号機 検査計画 (10ヵ年)										備考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年		H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	
C1.10	C-A	管胴と管胴フランジとの間溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%		第20回保全サイクル		第21回保全サイクル	第22回保全サイクル	-	第23回保全サイクル	第24回保全サイクル	-	第25回保全サイクル		
C1.20	C-A	管胴と管胴との間溶接継手	体積	1基の7.5%	2	UT	1基の7.5%							-	A 7.5%	-	-		

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

2. 糸鋸除去処理器管剛 (1/1)

項目番号		カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機械検査計画	備考
C1.10	C-A	管剛胴と管剛フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	クラス2機器供用期間中検査で管理		
C1.20	C-A	管剛鏡と管剛胴との溶接継手	体積	1基の7.5%			
C2.21	C-B	管剛入口管台及び管剛出口管台と管剛胴との溶接継手	体積及び表面	7.5%			

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
3. 配管 (1/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高 兵 発 電 所 第 4 号 機 検 査 計 画 (10年)										備 考							
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年		H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	
C3.20	C-C	配管の支持部材取り付け溶接継手																	
		格納容器循環サンプ出口ライン (355.60mm) Aライン (格納容器スブレイ系統)	表面	7.5%	2	PT	7.5% <sub>1</sub>						A1	-			-		
C5.11	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径10mm以上を越え公称肉厚9.5mmを越えるもの)																	
		格納容器循環サンプ出口ライン (14B.355.60mm) Aライン (格納容器スブレイ系統)	体積又は表面	7.5%	6	PT	7.5% <sub>1</sub>						A1	-			-		
		格納容器スブレイポンプ入口ライン (14B.355.60mm) A、Bライン	体積又は表面	7.5%	25	PT	7.5% <sub>2</sub>					A1	-		B1	-			
		支持構造物																	
F1.21	F-A	SIS高温副低圧注入ライン Aライン	VT-3	7.5%	3	VT-3	7.5% <sub>1</sub>							-	A1	-			
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン	VT-3	7.5%	22	VT-3	7.5% <sub>2</sub>						1	-		1	-		
		原子炉補機冷却水ポンプ出入口ライン	VT-3	7.5%	112	VT-3	7.5% <sub>9</sub>						3	-			-	3	
		格納容器循環サンプ出口ライン Aライン (格納容器スブレイ系統)	VT-3	7.5%	1	VT-3	7.5% <sub>1</sub>							-			-		A1
		格納容器スブレイポンプ入口ライン Aライン	VT-3	7.5%	7	VT-3	7.5% <sub>1</sub>							-			-		A1
		格納容器スブレイポンプ出口ライン A、Bライン	VT-3	7.5%	10	VT-3	7.5% <sub>1</sub>							-			-		A1
		格納容器スブレイ冷却器出口ライン A、Bライン	VT-3	7.5%	18	VT-3	7.5% <sub>2</sub>							A1	-		-		B1
		格納容器スブレイ系統余熱除去系統 連絡ライン	VT-3	7.5%	10	VT-3	7.5% <sub>1</sub>							1	-			-	
		恒設代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	23	VT-3	7.5% <sub>2</sub>							1	-			-	1
		可搬式代替低圧注水ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%	2	VT-3	7.5% <sub>1</sub>							-				-	1
		アニュラス空気浄化ライン	VT-3	7.5%	59	VT-3	7.5% <sub>5</sub>					B1	-			-		A2	

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画  
3. 配管 (2/3)

項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
発電用原子力設備配線 維持期路 (2008年版) JSME S NA1-2008				
C3.20	C-C	配管の支持部材取付け溶接継手		
		余熱除去ポンプ入口ライン (318, 50mm, 355, 60mm) A, Bライン	表面	7.5%
		余熱除去ポンプ出口ライン (267, 40mm) A, Bライン	表面	7.5%
		SIS低温側低圧注入ライン (165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	表面	7.5%
		SIS低温側ほう酸注入ライン (60, 50mm, 89, 10mm) A, B, 共通ライン	表面	7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ入口ライン (216, 30mm)	表面	7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (89, 10mm, 114, 30mm)	表面	7.5%
		1次冷却材管低温側高圧注入ラインほう酸注入タンク出口側 (89, 10mm)	表面	7.5%
		格納容器再循環サンプ出口ライン (355, 60mm) A, Bライン (余熱除去系統)	表面	7.5%
		配管の耐圧部分の溶接継手 (呼び径100Aを超え公称肉厚9.5mmを超えるもの)		
C5.11	C-F	余熱除去ポンプ入口ライン (128, 148, 318, 50mm, 355, 60mm) A, Bライン	体積又は表面	7.5%
		SIS低温側低圧注入ライン (68, 108, 165, 20mm, 267, 40mm) A, B, Cライン	体積及び表面	7.5%
		格納容器再循環サンプ出口ライン (148, 355, 60mm) A, Bライン (余熱除去系統)	体積又は表面	7.5%
クラス2機器供用期間中検査で管理				
備考				

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
3. 配管 (3/3)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画		備考
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度
C5.21	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(呼び径50A以上100A以下で公称肉厚5mmを超えるもの)		
		SIS低溫側ほう融注入ライン (2B, 3B, 60, 50mm, 89, 10mm) A, B, C, 共通ライン 充てん/高圧注入ポンプ出口ライン (3B, 4B, 89, 10mm)	表面	7.5%
C5.30	C-F	配管の耐圧部分の溶接継手(ソケット溶接継手)		
		SIS低溫側ほう融注入ライン (2B) A, B, Cライン 支持構造物	表面	7.5%
F1.21	F-A	余熱除去ポンプ入口ライン A, Bライン	VT-3	7.5%
		余熱除去ポンプ出口ライン A, Bライン	VT-3	7.5%
		SIS低溫側低圧注入ライン A, B, Cライン	VT-3	7.5%
		SIS低溫側ほう融注入ライン A, B, C, 共通ライン	VT-3	7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ出口ライン	VT-3	7.5%
		格納容器再循環ポンプ出口ライン A, Bライン(余熱除去系統)	VT-3	7.5%

クラス2機器供用期間中検査で管理



重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
4. 格納容器スプレッドポンプ(CI/CI)

		発電用原子力設備規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画(10年間)										備考	
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法及び検査の範囲	設備数	検査方法及び検査の範囲	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年		H35年
C6.10	C-6	ケーシングの溶接継手	表面 1台の7.5%	4	P T 1台の7.5% <sub>1</sub>		第20保全サイクル		第21保全サイクル	第22保全サイクル	-	第23保全サイクル	第24保全サイクル	-	第25保全サイクル
F1.43	F-A	ポンプの台板脚	V T-3 1台の7.5%	4	V T-3 1台の7.5% <sub>1</sub>				A 1		-			-	

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
5. 余熱除去ポンプ (C/T)

項目番号		カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	高浜発電所第4号機検査計画	備考
06.10		C-6	ケーシングの溶接継手	表面	1台の7.5%		
F1.43		F-A	ポンプの台板脚	V T - 3	1台の7.5%		

クラス2機器供用期間中検査で管理

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
 9. 原子炉補機冷却ポンプ (C/C1)

検査対象箇所		検査方法		検査の範囲及び程度		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考		
項目番号	カテゴリ	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年		H36年	
F1.43	F-A	ポンプの台振脚	VT-3	1台の7.5%	VT-3	1台の7.5%		第20保全サイクル			第21保全サイクル	-	第22保全サイクル	第23保全サイクル	第24保全サイクル	-	第25保全サイクル	対象はA、B、C原子炉補機冷却水ポンプ

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
 7.1 恒設代替低圧注水ポンプ(17/17)

検査対象箇所		検査方法		検査の範囲及び程度		高浜発電所 第4号機 検査計画 (10ヶ年)										備考	
項目番号	カテゴリ	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年		H36年
F1.43	F-A	VT-3	1台の7.5%	2	VT-3	1台の7.5%							1				
							第20保全サイクル				第21保全サイクル			第23保全サイクル			第25保全サイクル

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
8. 弁 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格 (2008年版) JSME S MA1-2008		高圧発電所第4号機検査計画 (10ヵ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年		H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
F1.43	F-A	支持構造物																
		原子炉補機冷却水ポンプ出入口ライ ン 4V-TCV-2342A 4V-TCV-2342B 格納容器スプレイ系統余熱除去系統 連絡ライン 4V-RH-100 4V-RH-101	VT-3 VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5% 類似弁ごと に1台の 7.5%	2 2	VT-3 VT-3	類似弁ごと に1台の 7.5% 類似弁ごと に1台の 7.5%											

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
8. 弁 (2/2)

検査対象箇所		検査方法	検査の範囲及び程度	備考
項目番号	カテゴリ	検査計画		
		高浜発電所第4号機検査計画		
		クラス2機器供用期間中検査で管理		
F1.43	F-A	支持構造物		
		余熱除去ポンプ吸入ロライン A. Bライン 4V-RH-041A 4V-RH-041B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%
		余熱除去ポンプ出力ロライン A. Bライン 4V-RH-024A 4V-RH-024B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%
		余熱除去ポンプ出力ロライン A. Bライン 4PCV-601 4PCV-611	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%
		余熱除去ポンプ出力ロライン A. Bライン 4HCV-603 4HCV-613	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%
		余熱除去ポンプ出力ロライン A. Bライン 4FCV-604 4FCV-614	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%
		SIS低温制御圧注入ロライン A. Cライン 4V-SI-197A 4V-SI-197B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%
		SIS低温制御ほう酸注入ロライン A. Bライン 4V-SI-042A 4V-SI-042B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%
		充てん/高圧注入ポンプ出力ロライン A. Bライン 4V-SI-023A 4V-SI-023B	VT-3	類似弁ごとに1台の7.5%

重大事故等クラス2機器用期間中検査計画  
9. クラス2機器漏えい検査 (1/4)

項目番号		カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)								備考 (漏えい区分)		
								H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	
								第20保全 サイクル			第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル			
			化学体積制御系統															
C7.30 C7.70	C-H		体積制御タンク及び出入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2											(SA-1)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		A-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2											(SA-2)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		B-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2				○							(SA-3)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		C-充てん/高圧注入ポンプ出口ロライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2				○							(SA-4)
C7.30 C7.70	C-H		ほう酸タンク出入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2				○							(SA-5)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H		ほう酸ポンプ出口ロライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2										○	(SA-6)
C7.30 C7.70	C-H		B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注 入ポンプ出口側)	VT-2	18.8	18.8	VT-2				○							(SA-7)
C7.30 C7.70	C-H		B-充てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(充てん/高圧注 入ポンプ入口側)	VT-2	1.4	1.4	VT-2				○							(SA-8)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
9. クラス2機器漏えい検査(2/4)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画(10ヵ年)										備考 (漏えい区分)						
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年		
							第20回保全 サイクル		第21回保全 サイクル		第22回保全 サイクル		第23回保全 サイクル		第24回保全 サイクル			第25回保全 サイクル
		余熱除去系統																
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ吸入ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2						-			-		O	(SA-9)
		B-余熱除去ポンプ吸入ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2						-	O		-			(SA-10)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2						-			-		O	(SA-11)
		B-余熱除去ポンプ出口ライン	VT-2	4.1	4.1	VT-2						-	O		-			(SA-12)
		燃料取替用水系統																
C7.30 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク出口ライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2						-			-			(SA-13)
		安全注入系統																
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	蓄圧タンク及び吸入ライン	VT-2	4.9	4.9	VT-2						-	O		-			(SA-14)
		ほう酸注入タンク及び吸入ライン	VT-2	18.8	18.8	VT-2						-	O		-			(SA-15)
C7.30 C7.70	C-H	充てん/高圧注入ポンプ出口安全注入ライン(2)	VT-2	17.16	17.16	VT-2						-	O		-			(SA-16)
		格納容器再循環ポンプ出口ライン(余熱除去ポンプ側)	VT-2	4.1	4.1	VT-2						-			-		O	(SA-17)



重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
9.クラス2機器漏えい検査(3/4)

発電用原子力設備規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高圧発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年 第20保全 サイクル	H29年	H30年 第21保全 サイクル	H31年 第22保全 サイクル	H32年 第23保全 サイクル	H33年 第24保全 サイクル	H34年 第25保全 サイクル	H35年	H36年 第26保全 サイクル	
		格納器スプレシステム															
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-格納器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					-				-	O	(SA-18)
		B-格納器スプレイポンプ入ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					-				-	O	(SA-19)
		A-格納器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					-				-	O	(SA-20)
		B-格納器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					-				-	O	(SA-21)
		格納器スプレイポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2					O				-		(SA-22)
		格納器再循環サブ出ロライン(格納器スプレイポンプ側)	VT-2	0.35	0.35	VT-2						-	O		-		(SA-23)
		恒設代替低圧注水ポンプ入ロライン	VT-2	1.4	1.4	VT-2								O	-		(SA-24)
		恒設代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	2.7	2.7	VT-2								O	-		(SA-25)
		可搬式代替低圧注水ポンプ出ロライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2								O	-		(SA-26)
		換気空調装置系統															
		アニュラス空気浄化ライン	VT-2	0.01	0.01	VT-2						-	O		-		(SA-27)
		中央制御室換気空調設備入ロライン	VT-2	-0.00392	-	(*)										O	(SA-56)
		中央制御室換気空調設備出ロライン	VT-2	0.00392	-	(*)										O	(SA-57)

(\*1)技術基準第56条第2項に記載の「他の方法」により外観点検を実施  
(\*2)分割して外観点検を実施

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画  
9. クラス2機器漏えい検査 (4/4)

発電用原子力設備規格 (2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所 第4号 機械検査計画 (10ヶ年)										備考 (漏えい区分)						
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年		
							第20保全 サイクル			第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	-	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	-	第25保全 サイクル		
		原子炉補機冷却水系統																
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A、B、C-原子炉補機冷却水ポンプ入口ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2												(SA-42)
		原子炉補機冷却水ポンプ出口A供給ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2								○				(SA-43)
		原子炉補機冷却水ポンプ出口B供給ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2				○								(SA-44)
C7.30 C7.70	C-H	B-赤てん/高圧注入ポンプ自己冷却ライン(原子炉補機冷却水側)	VT-2	0.98	0.98	VT-2							○					(SA-45)
		空気系統																
		制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(1)	VT-2	0.98	0.98	VT-2												(SA-53)
C7.50 C7.70	C-H	制御用空気加圧器逃がし弁用供給ライン(2)	VT-2	0.98	0.98	VT-2								○				(SA-54)
		アニュラスダンパ作動用窒素供給ライン	VT-2	0.83	0.83	VT-2				○								(SA-55)
		補助水系統																
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ出口ライン	VT-2	0.98	0.98	VT-2				○								(SA-40)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1.0. 原子炉補機冷却水冷却器胴副 (1/1)

発電用原子炉設備規格 (2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所 第4号機 検査計画 (10ヵ年)										備考						
項目番号	カテゴリ	検査対象箇所	検査方法	検査の範囲及び程度	設備数	検査方法	検査の範囲及び程度	H27年	H28年	H29年	H30年		H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年
C1.10	C-A	胴副と胴副フランジとの周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%		第20保全サイクル		第21保全サイクル	第22保全サイクル	-	第23保全サイクル	第24保全サイクル	-	第25保全サイクル	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
		胴副の周溶接継手	体積	1基の7.5%	4	UT	1基の7.5%											
C3.10	C-C	胴と当板との溶接継手	表面	1基の7.5%	4	PT	1基の7.5%					A1	-	-	-	-	-	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器
F1.43	F-A	支持脚	VT-3	1基の7.5%	4	VT-3	1基の7.5%					A1	-	-	-	-	-	対象はA、B原子炉補機冷却水冷却器

重大事故等クラス2 機器供用期間中検査計画  
 工工クラス2 機器漏えい検査 (1/2)

発電用原子力設備規格 維持規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画(10カ年)										備考 (漏えい区分)					
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	SA使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年	H32年	H33年	H34年	H35年	H36年	
							第20保全 サイクル			第21保全 サイクル	第22保全 サイクル	第23保全 サイクル	第24保全 サイクル	第25保全 サイクル			
		主給水系統															
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					○	-	-	-	-	-	(SA-28)
		B-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-	-	-	-	-	○	(SA-29)
		C-蒸気発生器給水入ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-	-	-	-	-	○	(SA-30)
		主蒸気系統															
C7.30 C7.70	C-H	A-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2					○	-	-	-	-	-	(SA-31)
		B-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-	-	-	-	-	○	(SA-32)
		C-蒸気発生器出ロライン	VT-2	8	8	VT-2					-	-	-	-	-	○	(SA-33)
		補助給水系統															
C7.30 C7.70	C-H	タービン動補助給水ポンプ蒸気ライン	VT-2	8	8	VT-2						-	-	○	-	-	(SA-34)
		タービン動補助給水ポンプ・燃料取替用水タンク補給用移送ポンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2						-	-	○	-	-	(SA-35)
C7.30 C7.50 C7.70	C-H	タービン動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2						-	-	○	-	-	(SA-36)
		電動補助給水ポンプ入ロライン	VT-2	大気圧	水張り	VT-2						-	-	○	-	-	(SA-37)
		電動補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	12.3	12.3	VT-2						-	-	○	-	-	(SA-38)
C7.30 C7.70	C-H	補助給水ポンプ出ロライン	VT-2	8.6	8.6	VT-2						-	-	○	-	-	(SA-39)
		2次系補助給水系統															
C7.30 C7.70	C-H	覆水タンク給水ライン	VT-2	1.55	1.55	VT-2						-	-	○	-	-	(SA-41)

重大事故等クラス2機器供用期間中検査計画

1.1.1.クラス2機器漏えい検査(2/2)

発電用原子力設備規格(2008年版) JSME S MA1-2008		高浜発電所第4号機検査計画(10年間)										備考 (漏えい区分)				
項目 番号	カテゴリ	漏えい検査範囲 ライン名称	検査方法	S-A使用時圧力 MPa	検査圧力 MPa	検査方法	H27年	H28年 第20保全 サイクル	H30年 第21保全 サイクル	H31年 第22保全 サイクル	H32年 第23保全 サイクル	H33年 第24保全 サイクル	H34年 第25保全 サイクル	H35年 第26保全 サイクル	H36年 第27保全 サイクル	
		原子炉補機冷却海水系統														
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(海水ストレナー入口)	VT-2	0.7	0.7	VT-2					-	○	-			(SA-46)
C7.10 C7.30 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(A原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	1.2	1.2	VT-2					-	○	-			(SA-47)
C7.20 C7.50 C7.70	C-H	A-海水ポンプ出口ライン(B原子炉補機冷却水冷却器海水出入口ライン)	VT-2	0.7	0.7	VT-2					-	○	-			(SA-48)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	B-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2				○	-		-			(SA-49)
C7.10 C7.30 C7.50 C7.70	C-H	C-海水ポンプ出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2				○	-		-			(SA-50)
C7.20 C7.70	C-H	A,B原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2					-	○	-			(SA-51)
		C,D原子炉補機冷却水冷却器海水出口ライン	VT-2	0.7	0.7	VT-2				○	-		-			(SA-52)



## 長期保守管理方針実施状況総括表

### 4号炉 長期保守管理方針実施状況総括表

長期保守管理方針 <sup>※1</sup>	長期保守管理方針に基づく活動内容		実施時期	第21 保全サイクル 実施計画	進捗状況 <sup>※2</sup>	備考 ( )内は実績を記載
	機器又は系統名	部位と経年劣化事象				
1	蒸気発生器	伝熱管の損傷	活動項目 蒸気発生器の伝熱管の損傷については、蒸気発生器取替を含めた保全方法を検討する。	中長期	未実施	
2	原子炉容器	胴部(炉心領域部)の中性子照射脆化	原子炉容器の胴部(炉心領域部)の中性子照射脆化については、原子炉の運転時間および照射量を勘案し、第5回監視試験の実施計画を策定する。	中長期	継続実施中	原子炉容器の胴部(炉心領域部)の中性子照射脆化については、原子炉の運転時間および照射量を勘案し、3ヵ年計画を策定しており、第23回定期検査において第5回の監視試験片を取り出し、監視試験を実施予定。
3	ドレン系統配管	母管 腐食(流れ加速型腐食)	配管の腐食(流れ加速型腐食)については、肉厚測定による実測データに基づき耐震安全性評価を実施した炭素鋼配管*1について、耐震性が確認できる板厚に到達するまでに、サポート改造等の設備対策を行い、これを反映した耐震安全性評価を実施する。 なお、サポート改造等の設備対策が完了するまでは、減肉傾向の把握およびデータ蓄積を継続して行い、減肉進捗の実測データを反映した耐震安全性評価を実施する。	短期	未実施	
4	基準地震動による評価が必要な設備	耐震安全上考慮する必要がある経年劣化事象	* :ドレン系統配管 基準地震動Ss-2～Ss-7に対する評価*1が必要な全ての機器・経年劣化事象*2について、継続して評価を実施する。 * 1:弾性設計用地震動Sd-2～Sd-7に対する評価を含む。 * 2:基準地震動Ss-11に対する評価結果から評価が厳しいと考えられる機器・経年劣化事象等については、基準地震動Ss-2～Ss-7に対する評価を実施し、耐震安全性を確認している。	短期	実施済	(第20保全サイクルで実施済) 基準地震動Ss-2～7に対する評価(弾性設計用地震動Sd1による評価を含む)が必要な全ての機器・経年劣化事象について、評価を実施した結果、耐震安全性に問題はないことを確認した。
5	主変圧器	コイル 絶縁低下	主変圧器のコイルの絶縁低下については、絶縁紙の寿命評価に基づく取替の要否を判断し、要の場合には実施計画を策定する。	中長期	未実施	

※ :「高浜発電所原子炉施設保安規定」添付6の長期保守管理方針番号  
 ※※:第21サイクル当初での状況を記載



## 保全に関する実施体制

## 保全に関する実施体制

### 1. 高浜発電所の保守管理体制

高浜発電所第4号機の第21保全サイクルにおける保守管理体制を下図に示す。

